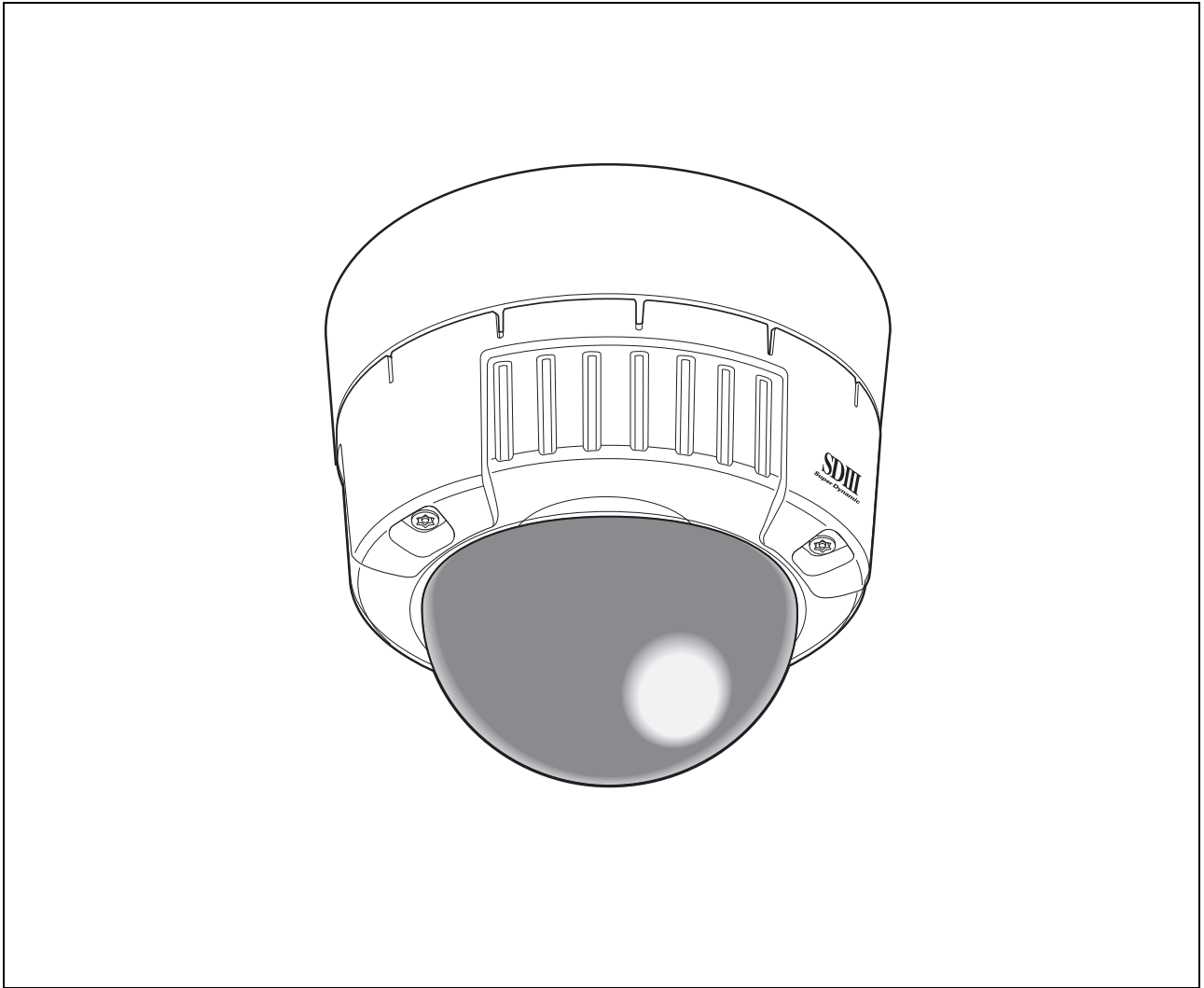


Panasonic[®]

取扱説明書 標準設定編

ネットワークカメラ
品番 DG-NW484S



はじめに

取扱説明書について

本機の手取扱説明書は、本書（PDF ファイル）、標準操作編（PDF ファイル）と基本編の3部構成になっています。

本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピュータ（以下、PC）から本機を設定する方法について説明しています。

本機の設置のしかたおよびネットワーク機器との接続方法については、『取扱説明書 基本編』を参照してください。

PDF マニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社の Adobe® Reader®日本語版が必要です。PC に Adobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新の Adobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

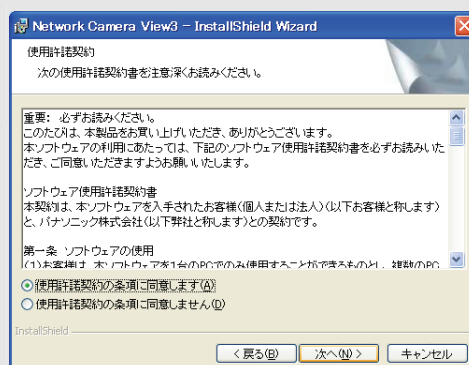
- Microsoft、Windows、ActiveX および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「iモード」および「i-mode」ロゴは、NTT ドコモの登録商標または商標です。
- SD ロゴは商標です。
- その他、本文中の社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

表示用プラグインソフトウェアについて

- 本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか付属 CD-ROM 内の「nwcvc3setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- お買い上げ時は、[プラグインソフトウェアの自動インストール] が「許可する」に設定されています。情報バーにメッセージが表示される場合は、72 ページを参照してください。
- 最初に PC から本機のライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要な ActiveX のインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveX のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、PC を再起動してください。



- 表示用プラグインソフトウェアには、PC ごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、設定メニューの [バージョンアップ] タブで確認できます。（→58 ページ）ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

はじめに

取扱説明書について	2
商標および登録商標について	2
表示用プラグインソフトウェアについて	2

設定

PC から設定する	5
表示のしかた	5
操作のしかた	6
設定メニューの画面について	7
本機の基本設定	8
基本設定 [基本]	8
NTP サーバーを設定する [NTP]	10
SD メモリーカードを設定する [SD メモリーカード]	11
画像に関する設定	15
JPEG 画像を設定する [JPEG/MPEG-4]	15
MPEG-4 画像を設定する [JPEG/MPEG-4]	16
カメラの名称および動作を設定する [カメラ動作]	19
画質に関する設定 [画質/ABF]	20
画質を調整する (画質調整画面)	21
マスクエリアを設定する	25
電子ズームを設定する (電子ズーム設定画面)	27
バックフォーカスを設定する (バックフォーカス設定画面)	28
プライバシーゾーンを設定する (プライバシーゾーン設定画面)	30
マルチスクリーンの設定	32
アラームの設定	33
アラーム検出に関する設定をする [アラーム]	33
アラーム画像を設定する [アラーム]	34
出力端子/白黒切替端子を設定する [アラーム]	36
AUX 名称を変更する [AUX 名称]	37
VMD を設定する [VMD エリア]	37
VMD エリアを 4 ヶ所設定する	39
メール通知を設定する [通知]	40
独自アラーム通知を設定する [通知]	41
認証設定	43
ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]	43
ホスト認証を設定する [ホスト認証]	44
サーバーの設定	46
メールサーバーを設定する [メール]	46
FTP サーバーを設定する [FTP]	47

ネットワークの設定	48
ネットワークを設定する [ネットワーク]	48
DDNS を設定する [DDNS]	51
SNMP を設定する [SNMP]	52
FTP 定期送信を設定する [FTP 定期]	53
FTP 定期送信スケジュールを設定する [FTP 定期]	55
メンテナンス	57
システムログを確認する [システムログ]	57
ソフトウェアをバージョンアップする [バージョンアップ]	58
ソフトウェアのバージョンアップ方法	59
本機を初期化・再起動する [初期化]	60



その他

ネットワークセキュリティ	61
本機に装備しているセキュリティ機能	61
ヘルプを見る	62
ヘルプ画面を表示する	62
システムログ表示について	63
SMTP に関するエラー表示	63
FTP に関するエラー表示	64
DDNS に関するエラー表示	64
NTP に関するエラー表示	65
故障かな!?	66
Windows® XP Service Pack2 をインストールしてお使いになる場合	71
B ドライブのディレクトリ構造	73
用語集	74

PC から設定する

PC から設定メニューを表示してカメラまたはソフトウェアの各種機能を設定します。

重要

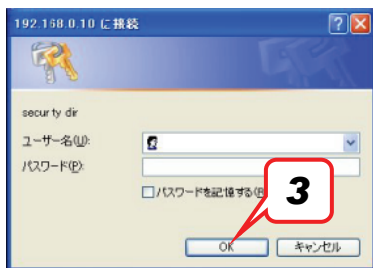
- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーが操作できます。アクセスレベルの設定方法については、44 ページを参照してください。

表示のしかた

●ライブ画ページ



- 1 ライブ画ページを表示します。
(→『標準操作編』)
- 2 ライブ画ページの [設定] ボタンをクリックします。



- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
設定メニューを表示します。(→7 ページ)



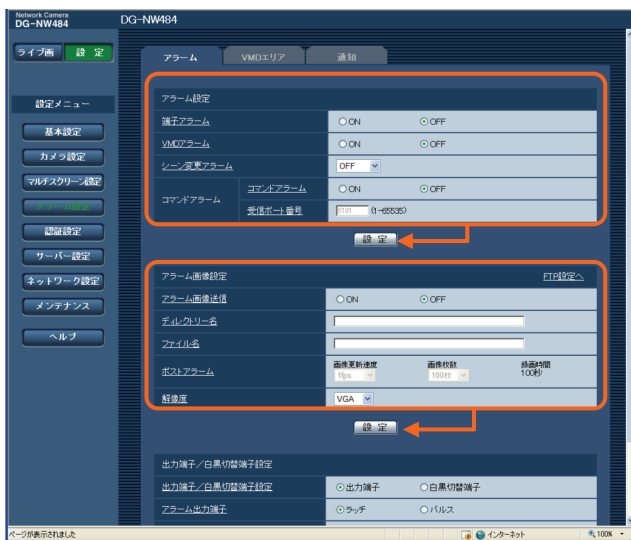
操作のしかた



- 1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックすると、設定ページを表示できます。
- 2 設定ページ（7 ページ）の各項目を入力します。
- 3 入力が終了したら「設定」ボタンをクリックして、入力内容を確認します。

メモ

- 「設定」、「登録」ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに「設定」、「登録」ボタンをクリックしてください。



ライブ画ページについては、『標準操作編』を参照してください。

設定メニューの画面について



項番	項目	内容
①	[ライブ画] ボタン	ライブ画ページを表示します。
②	[基本設定] ボタン (→8 ページ)	基本設定ページを表示します。カメラタイトル、日時などの基本情報を設定します。
③	[カメラ設定] ボタン (→15 ページ)	カメラ設定ページを表示します。JPEG/MPEG-4 画像の画質・解像度・動作などカメラに関する情報を設定します。
④	[マルチスクリーン設定] ボタン (→32 ページ)	マルチスクリーン設定ページを表示します。マルチスクリーンで表示するカメラを最大 8 台まで登録できます。
⑤	[アラーム設定] ボタン (→33 ページ)	アラーム設定ページを表示します。アラーム発生時の動作、VMD エリア、アラーム通知先に関する情報を設定します。
⑥	[認証設定] ボタン (→43 ページ)	認証設定ページを表示します。本機にアクセスするユーザー、PC の認証を登録します。
⑦	[サーバー設定] ボタン (→46 ページ)	サーバー設定ページを表示します。本機がアクセスするメールサーバーと FTP サーバーに関する情報を設定します。
⑧	[ネットワーク設定] ボタン (→48 ページ)	ネットワーク設定ページを表示します。本機のネットワークに関する情報を設定します。
⑨	[メンテナンス] ボタン (→57 ページ)	メンテナンスページを表示します。システムログ表示、ソフトウェアバージョンアップ、初期化を実行します。
⑩	[ヘルプ] ボタン (→62 ページ)	ヘルプページを表示します。
⑪	ステータス表示部	現在設定しているカメラタイトルを表示します。
⑫	設定ページ	各設定メニューのページを表示します。表示する機能によって、複数のタブで構成しているページがあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。

本機の基本設定

基本設定ページでは、本機の名称、時刻設定、NTP サーバー、および SD メモリーカードに関する情報を設定します。

基本設定ページは、[基本] タブ、[NTP] タブ、[SD メモリーカード] タブで構成されています。

基本設定 [基本]

基本設定ページの [基本] タブをクリックします。

ここでは、本機の名称および日時などの基本的な情報を設定します。



(1/3)

項番	項目	内容
①	[カメラタイトル] 初期設定：DG-NW484	本機の名称を入力します。[設定] ボタンをクリックすると、入力した名称をステータス表示部に表示します。 入力可能文字数：0～20 文字
②	[日時設定]	現在の日付時刻を選択します。[時刻表示形式] で「12 時間」を選択した場合は、「AM/PM」を選択します。 設定可能範囲：2007/01/01 0:00:00～2035/12/31 23:59:59
③	[時刻表示形式] 初期設定：24 時間	時刻の表示方法を選択します。[日時設定] は、この設定にあわせて選択してください。
	24 時間	時刻を 24 時間形式で表示します。
	12 時間	時刻を 12 時間形式で表示します。
	OFF	日付時刻を表示しません。
④	[日付表示形式] 初期設定：YYYY/MM/DD	日付の表示形式を選択します。 [日時設定] を「2007 年 4 月 1 日 13 時 10 分 00 秒」に設定した場合は、それぞれの表示形式は以下のとおりです。
	DD/MM/YYYY	01/04/2007 13:10
	MM/DD/YYYY	04/01/2007 13:10
	DD/Mmm/YYYY	01/Apr/2007 13:10
	YYYY/MM/DD	2007/04/01 13:10
	Mmm/DD/YYYY	Apr/01/2007 13:10

項番	項目	内容
⑤	[サマータイム] 初期設定：OFF	サマータイムを使用するかどうかを設定します。サマータイムを使用する地域でご使用ください。
	ON	サマータイムを使用します。時刻表示に「*」を表示します。
	OFF	サマータイムを使用しません。
⑥	[LED 表示] 初期設定：点灯	以下の LED を点灯するかどうかを設定します。動作状態を LED で確認する場合は、「点灯」を選択します。 メモ
	点灯	LED を点灯します。
	消灯	LED を消灯します。
⑦	[日時&画面内文字表示位置] 初期設定：左上	ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示する文字の位置を設定します。
	左上	画像内の左上に表示します。
	左下	画像内の左下に表示します。
	右上	画像内の右上に表示します。
	右下	画像内の右下に表示します。
⑧	[状態通知間隔] 初期設定：リアルタイム	本機の状態を通知する間隔を選択します。 状態に変化があったときは、ライブ画ページに [アラーム発生通知] ボタンと [AUX] ボタンを表示してお知らせします。 重要 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windows 2000 Professional SP4 日本語版を使用すると、「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定した場合でも「定期 (30 秒)」のモードで動作します。 メモ
	定期 (30 秒)	30 秒ごとに状態を通知します。
	リアルタイム	状態に変化があると通知します。
⑨	[状態通知受信ポート番号] 初期設定：31004	[状態通知間隔] を「リアルタイム」に設定している場合は、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。 設定可能範囲：1~65535

項番	項目	内容
⑩	[プラグインソフトウェアの自動インストール] 初期設定：許可する	表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。 重要 <ul style="list-style-type: none"> PC で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。 プラグインソフトウェアのインストール回数は、メンテナンスページの [バージョンアップ] タブで確認できます。
	許可する	表示用プラグインソフトウェアを本機から PC へ自動的にインストールします。
	許可しない	表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

NTP サーバーを設定する [NTP]

基本設定ページの [NTP] タブをクリックします。

ここでは、NTP サーバーのアドレスおよびポート番号など、NTP サーバーに関する情報を設定します。



項番	項目	内容
①	[時刻調整] 初期設定：マニュアルセッティング	時刻を調整するときに、マニュアルセッティングを基準にするか NTP サーバーに同期させるかを設定します。
	マニュアルセッティング	基本設定ページの [基本] タブで設定した時刻を基準にします。
	NTP サーバーに同期	NTP サーバーから取得した時刻を基準にします。
②	[NTP サーバーアドレス] * 初期設定：空欄	NTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。 入力可能文字数：1～128 文字（半角英数字） 重要 <ul style="list-style-type: none"> サーバーのホスト名を入力した場合は、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブで DNS を設定する必要があります。（→49 ページ） ドメイン名は半角英数字で入力してください。
③	[ポート番号] * 初期設定：123	NTP サーバーのポート番号を入力します。 入力可能範囲：1～65535

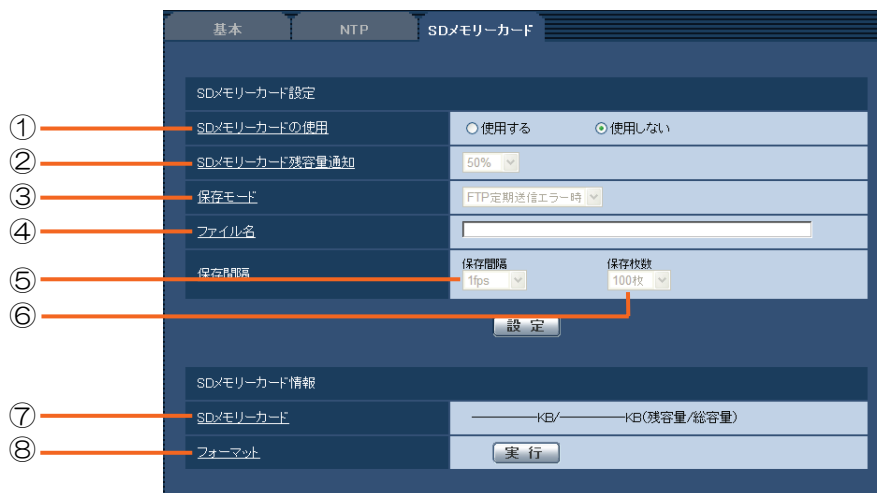
項番	項目	内容
④	[取得間隔] ※ 初期設定：1 時間	NTP サーバーから時刻を取得する間隔（1～24 時間で 1 時間単位）を選択します。
⑤	[タイムゾーン] ※ 初期設定：(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京	ご使用の地域に応じたタイムゾーンを選択します。

※ [時刻調整] が「NTP サーバーに同期」の場合に設定します。

SD メモリーカードを設定する [SD メモリーカード]

基本設定ページの [SD メモリーカード] タブをクリックします。

ここでは、SD メモリーカードに関する情報を設定します。



■SD メモリーカード設定

項番	項目	内容
①	[SD メモリーカードの使用] 初期設定：使用しない	SD メモリーカードを使用するかどうかを設定します。 重要 <ul style="list-style-type: none"> SD メモリーカードを取り付けた場合は、「使用する」に設定してください。
	使用する	SD メモリーカードを使用します。
	使用しない	SD メモリーカードを使用しません。

項番	項目	内容
②	[SD メモリーカード残容量通知] 初期設定：50%	メール通知機能および独自アラーム通知機能を使用して SD メモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%の時点で通知を開始するかを以下から選択します。 50 % / 20 % / 10 % / 5 % / 2 % メモ <ul style="list-style-type: none"> SD メモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知します。 例えば、「50%」に設定した場合は、残容量が 50 %、20 %、10 %、5 %、2 % になったときにそれぞれ通知します。 ご利用のネットワーク環境によっては、通知するタイミングがずれることがあります。
③	[保存モード] 初期設定：FTP 定期送信エラー時	SD メモリーカードへ画像を保存する方法を選択します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> FTP 定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時に FTP サーバーへ画像を送信する場合は、「FTP 定期送信エラー時」に設定してください。 DHCP 機能 (48 ページ) を「ON」にすると、本機に IP アドレスを設定するまでの間、[保存モード] の設定に関わらず画像を SD メモリーカードに保存できません。
	FTP 定期送信エラー時 アラーム発生時	FTP サーバーへの定期送信を失敗したときに画像を保存します。 アラームが発生したときに画像を保存します。
④	[ファイル名] * 初期設定：空欄	SD メモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存するファイル名は、「入力したファイル名+日時 (年月日時分秒) +連続番号」になります。 入力可能文字数：1~8 文字 メモ <ul style="list-style-type: none"> [保存モード] を「FTP 定期送信エラー時」に設定している場合は、ネットワーク設定ページの [FTP 定期] タブで設定したファイル名で保存します。
⑤	[保存間隔] * 初期設定：1 fps	アラーム発生時に、SD メモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。 0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps / 1 fps
⑥	[保存枚数] * 初期設定：100 枚	アラーム発生時に、SD メモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。 10 枚 / 20 枚 / 30 枚 / 50 枚 / 100 枚 / 200 枚 / 300 枚 / 500 枚 / 1 000 枚 / 2 000 枚 / 3 000 枚 / 5 000 枚

* [保存モード] が「アラーム発生時」の場合に設定します。

■SDメモリーカード情報

(3/3)

項番	項目	内容
⑦	[SDメモリーカード]	SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。SDメモリーカードの状態によって、次のように表示する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 「—KB/—KB」 SDメモリーカードを挿入していない、または読み取りエラーによりサイズが取得できない。 「*****KB/*****KB」 SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。
⑧	[フォーマット]	SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

メモ

フォーマットについて

- フォーマットを実行する前に、[SDメモリーカード]を「使用する」(11 ページ)、[定期送信設定]を「OFF」(53 ページ)に設定してください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず[SDメモリーカード]タブでフォーマットしてください。
[SDメモリーカード]タブ以外でフォーマットした場合は、以下の機能が正常に動作しないことがあります。(→11 ページ)
 - ・FTP 定期送信に失敗した画像の保存/取得
 - ・アラーム発生時の画像の保存/取得
 - ・弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存/取得
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存していたデータをすべて消去します。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーを作成するため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 動作確認済み SDメモリーカード※
パナソニック株式会社製 (64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、2GB)
※ SDHCメモリーカードには対応しておりません。
- SDメモリーカードは購入時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものをご使用ください。

メモリーカード保存枚数の目安

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体および保存設定（15 ページ）により変わります。

解像度：VGA

SDメモリーカードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
2GB	約 10 000 枚	約 14 000 枚	約 16 000 枚	約 18 000 枚	約 20 000 枚	約 22 000 枚	約 26 000 枚	約 28 000 枚	約 30 000 枚	約 32 000 枚
1GB	約 5 000 枚	約 7 000 枚	約 8 000 枚	約 9 000 枚	約 10 000 枚	約 11 000 枚	約 13 000 枚	約 14 000 枚	約 15 000 枚	約 16 000 枚
512MB	約 2 500 枚	約 3 500 枚	約 4 000 枚	約 4 500 枚	約 5 000 枚	約 5 500 枚	約 6 500 枚	約 7 000 枚	約 7 500 枚	約 8 000 枚
256MB	約 1 250 枚	約 1 750 枚	約 2 000 枚	約 2 250 枚	約 2 500 枚	約 2 750 枚	約 3 250 枚	約 3 500 枚	約 3 750 枚	約 4 000 枚
128MB	約 625 枚	約 875 枚	約 1 000 枚	約 1 125 枚	約 1 250 枚	約 1 375 枚	約 1 625 枚	約 1 750 枚	約 1 875 枚	約 2 000 枚
64MB	約 312 枚	約 437 枚	約 500 枚	約 562 枚	約 625 枚	約 687 枚	約 812 枚	約 875 枚	約 937 枚	約 1 000 枚

解像度：QVGA

SDメモリーカードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
2GB	約 24 000 枚	約 26 000 枚	約 27 000 枚	約 28 000 枚	約 30 000 枚	約 32 000 枚	約 36 000 枚	約 38 000 枚	約 40 000 枚	約 42 000 枚
1GB	約 12 000 枚	約 13 000 枚	約 13 500 枚	約 14 000 枚	約 15 000 枚	約 16 000 枚	約 18 000 枚	約 19 000 枚	約 20 000 枚	約 21 000 枚
512MB	約 6 000 枚	約 6 500 枚	約 6 750 枚	約 7 000 枚	約 7 500 枚	約 8 000 枚	約 9 000 枚	約 9 500 枚	約 10 000 枚	約 10 500 枚
256MB	約 3 000 枚	約 3 250 枚	約 3 375 枚	約 3 500 枚	約 3 750 枚	約 4 000 枚	約 4 500 枚	約 4 750 枚	約 5 000 枚	約 5 250 枚
128MB	約 1 500 枚	約 1 625 枚	約 1 687 枚	約 1 750 枚	約 1 875 枚	約 2 000 枚	約 2 250 枚	約 2 375 枚	約 2 500 枚	約 2 625 枚
64MB	約 750 枚	約 812 枚	約 843 枚	約 875 枚	約 937 枚	約 1 000 枚	約 1 125 枚	約 1 187 枚	約 1 250 枚	約 1 312 枚

画像に関する設定

カメラ設定ページでは、JPEG/MPEG-4 画像、カメラ動作、画質/ABF に関する情報を設定します。カメラ設定ページは、[JPEG/MPEG-4] タブ、[カメラ動作] タブ、[画質/ABF] タブで構成しています。

JPEG 画像を設定する [JPEG/MPEG-4]

カメラ設定ページの [JPEG/MPEG-4] タブをクリックします。

ここでは、JPEG 画像の更新速度、解像度、画質を設定します。MPEG-4 画像に関する設定については 17 ページを参照してください。



■JPEG 設定

項番	項目	内容
①	[画像更新速度*] 初期設定：5 fps	JPEG 画像を更新する速度を以下から選択します。 0.1 fps/0.2 fps/0.33 fps/0.5 fps/1 fps/2 fps/3 fps/5 fps /6 fps*/10 fps*/15 fps*/30 fps* メモ • [MPEG-4 配信] を「ON」設定して「*」付きの値を設定すると、ご利用のネットワーク環境によっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
②	[解像度] 初期設定：VGA	JPEG 画像の解像度を QVGA/VGA のどちらかに設定します。
③	[画質] 初期設定：5 標準	JPEG 画像の画質を以下から選択します。 0 最高画質/1 高画質/2/3/4/5 標準/6/7/8/9 低画質

MPEG-4 画像を設定する [JPEG/MPEG-4]

カメラ設定ページの [JPEG/MPEG-4] タブをクリックします。

ここでは、MPEG-4 画像のビットレート、解像度、画質などを設定します。JPEG 画像に関する設定については 15 ページを参照してください。



■MPEG-4 設定

(1/3)

項番	項目	内容
①	[MPEG-4 配信] 初期設定：ON	MPEG-4 画像を配信するかどうかを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 「MPEG-4 配信」を「ON」に設定した場合は、MPEG-4 画像と JPEG 画像の両方を見ることができます。ただし、JPEG 画像の画像更新速度が低下することがあります。
	ON	MPEG-4 画像を配信します。
	OFF	MPEG-4 画像を配信しません。
②	[1 クライアントあたりの ビットレート] 初期設定：2048 kbps *	1 クライアントに対する MPEG-4 ビットレートを以下から選択します。 64 kbps / 128 kbps* / 256 kbps* / 512 kbps* / 1024 kbps* / 1536 kbps* / 2048 kbps* / 3072 kbps* / 4096 kbps* メモ <ul style="list-style-type: none"> ビットレートは、ネットワーク設定ページの [配信量制御 (ビットレート)] の設定値と連動します。(→50 ページ) 「*」付きの値を設定した場合は、ご利用のネットワーク環境によっては、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。

項番	項目	内容
③	[解像度] 初期設定：VGA	MPEG-4 画像の解像度を QVGA/VGA のどちらかに設定します。
④	[画質] 初期設定：標準	MPEG-4 画像の画質を選択します。
	動き優先	動きを優先します。(画質は粗くなります。)
	標準	標準の設定です。
	画質優先	画質を優先します。(コマ落ちする場合があります。)
⑤	[リフレッシュ周期] 初期設定：3 秒	MPEG-4 画像をリフレッシュする周期 (i フレーム周期) を以下から選択します。 1 秒/2 秒/3 秒/4 秒/5 秒 ご利用のネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ周期を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、リフレッシュ周期を短く設定すると画像の更新速度が低下することがあります。
⑥	[配信方式] 初期設定：ユニキャスト (ポート番号設定：オート)	MPEG-4 画像の配信方式を選択します。 ユニキャストを選択した場合は、1 台のカメラに最大 8 人までアクセスできます。 マルチキャストを選択した場合は、人数制限なしに同時にアクセスできます。
	ユニキャスト (ポート番号設定：オート)	ユニキャストで MPEG-4 画像を送信するときに使用するポート番号は自動的に割り当てられます。 メモ <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク内で使用する場合など MPEG-4 画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト (ポート番号設定：オート)」に設定することをお勧めします。
	ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)	ユニキャストで MPEG-4 画像を送信するときに選択します。使用するポート番号を設定してください。 メモ <ul style="list-style-type: none"> インターネット経由で MPEG-4 画像を配信する場合は、ブロードバンドルーターに設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください。詳しくは、使用するブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。
	マルチキャスト	マルチキャストで MPEG-4 画像を送信するときに [マルチキャストアドレス] [マルチキャストポート番号] [マルチキャスト TTL] を入力します。
⑦	[ユニキャストポート番号] ※1 初期設定：32004	ユニキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用するポート番号)を入力します。 設定可能範囲：1024~50000 (偶数のみ)
⑧	[マルチキャストアドレス] ※2 初期設定：239.192.0.20	マルチキャストのアドレスを入力します。 指定したアドレスに画像を送信します。 設定可能範囲：224.0.0.0~239.255.255.255

項番	項目	内容
⑨	[マルチキャストポート番号] ※2 初期設定：37004	マルチキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用するポート番号)を入力します。 設定可能範囲：1024～50000 (偶数のみ) 重要 <ul style="list-style-type: none"> マルチキャストポート番号は、未使用のポート番号を入力してください。
⑩	[マルチキャストTTL] ※2 初期設定：16	マルチキャストのTTL値を入力します。 設定可能範囲：1～254 重要 <ul style="list-style-type: none"> インターネット経由でMPEG-4画像を配信できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、カメラ接続しているネットワークに接続していないLANカードを無効にしてください。

※1 [配信方式] が「ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)」の場合に設定します。

※2 [配信方式] が「マルチキャスト」の場合に設定します。

カメラの名称および動作を設定する [カメラ動作]

カメラ設定ページの [カメラ動作] タブをクリックします。
ここでは、カメラの名称および動作に関する情報を設定します。



項番	項目	内容
①	[画面内文字表示] 初期設定：OFF	[画面内文字]で入力した文字列を画像上に表示させるかどうかを設定します。
	ON	[日時&画面内文字表示位置] (→9 ページ) で設定した場所に [画面内文字] で入力した文字列を表示させます。
	OFF	画像上に文字列を表示しません。
②	[画面内文字 (A~Z、0~9、カナ)] 初期設定：空欄	画像内で表示する本機の名称を入力します。 入力可能文字数：0~16 文字 入力可能文字：0~9 (半角)、A~Z (半角)、全角カナ、半角記号 (` # \$ % & ' () * + , - . / : ; = ?)
③	[上下反転] 初期設定：OFF	画像を上下反転するかどうかを ON/OFF で設定します。
	ON	画像を上下反転にします。
	OFF	画像を上下反転にしません。
④	[画揺れ補正] 初期設定：OFF	カメラの画揺れ補正機能を使用するかどうかを設定します。カメラを電柱およびポールに設置した場合などに有効です。
		重要 <ul style="list-style-type: none"> 「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。(→『基本編』) 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 暗い被写体 ・ 明暗差のない被写体 (白い壁など) ・ 機械的振動などの速い周期の画揺れ ・ 振幅の大きい画揺れ
	ON	画揺れを軽減します。
	OFF	画揺れ補正をしません。

画質に関する設定 [画質/ABF]

カメラ設定ページの「画質/ABF」タブをクリックします。

各項目の「詳細設定へ≫」ボタンをクリックして詳細設定画面を別ウィンドウで表示し、「画質/ABF」タブに表示した画像を見ながら設定します。

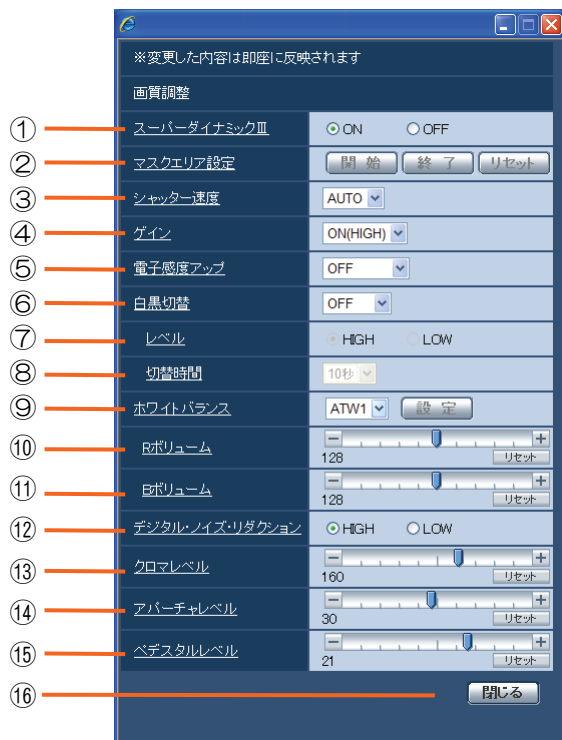
ここでは、画質調整、電子ズーム、バックフォーカス、プライバシーゾーンを設定します。



項番	項目	内容
①	[画質調整]	[詳細設定へ≫] ボタンをクリックすると、画質調整に関する設定画面を別ウィンドウで表示します。(→21 ページ)
②	[電子ズーム設定]	[詳細設定へ≫] ボタンをクリックすると、電子ズームに関する設定画面を別ウィンドウで表示します。(→27 ページ)
③	[バックフォーカス設定]	[詳細設定へ≫] ボタンをクリックすると、バックフォーカスに関する設定画面を別ウィンドウで表示します。(→28 ページ)
④	[プライバシーゾーン設定]	[詳細設定へ≫] ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面を別ウィンドウで表示します。(→30 ページ)

画質を調整する（画質調整画面）

〔画質/ABF〕タブで、「画質調整」の〔詳細設定へ≫〕ボタンをクリックします。（→20ページ）
 ここでは、画質調整に関して詳細を設定します。値を変更した場合は、〔画質/ABF〕タブに表示している画像にも、変更した内容を同時に反映します。



(1/4)

項番	項目	内容
①	[スーパーダイナミックⅢ] 初期設定：ON	スーパーダイナミックⅢを作動させるかどうかを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 照明の条件によりちらつき、色の変化、ノイズが発生する場合は、「OFF」に設定してください。
	ON	スーパーダイナミックⅢを作動させます。
	OFF	スーパーダイナミックⅢを停止します。
②	[マスクエリア設定]	[スーパーダイナミックⅢ]を「OFF」に設定した場合は、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正します。 操作方法については25ページを参照してください。
	[開始] ボタン	マスクエリア設定を開始します。
	[終了] ボタン [リセット] ボタン	マスクエリア設定を終了します。 設定したマスクエリアを解除します。
③	[シャッター速度] 初期設定：AUTO	電子シャッターの速度を選択します。[シャッター速度]を「AUTO」に設定してもフリッカ（ちらつき）を補正できないときは、「1/100」に設定してください。
	AUTO	シャッター速度を自動調節して、蛍光灯によるフリッカ（ちらつき）を軽減します。
	OFF 1/100	1/60 秒固定です。 1/100 秒固定です。

項番	項目	内容
④	[ゲイン] 初期設定：ON (HIGH)	ゲイン（映像信号の増幅度）の調節方法を選択します。
	ON (HIGH)、 ON (MID)、 ON (LOW)	被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。（ ）内の HIGH/MID/LOW はゲインのレベルになります。
	OFF	ゲインを常に固定した状態で撮影します。
⑤	[電子感度アップ] 初期設定：OFF	電子感度アップの割合を以下から選択します。CCD の蓄積時間を変えて電子感度を上げます。 OFF/x2 AUTO/x4 AUTO/x6 AUTO/x10 AUTO/x16 AUTO/x32 AUTO メモ <ul style="list-style-type: none"> 「x32 AUTO」に設定すると、32 倍までの間で自動的に電子感度を上げます。
		重要 <ul style="list-style-type: none"> 「電子感度アップ」を「ON」に設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点(傷)が見える場合があります。
⑥	[白黒切替] 初期設定：OFF	白黒映像とカラー映像の切り替えを選択します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 本機では、CCD 撮像素子の情報により簡易的に光源を判断します。たえず動いている被写体および全画面が一定の色の場合は、光源を判断できないことがあります。[白黒切替]を「AUTO2」に設定した場合は、光源は波長が 800 nm 以上のものを使用してください。
	ON	白黒映像を表示します。
	OFF	カラー映像を表示します。
	AUTO1	画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像に切り替えます。
	AUTO2	夜間時に近赤外線の光源を使用する場合に設定します。
⑦	[レベル] 初期設定：HIGH	白黒映像に切り替える照度のレベルを設定します。
	HIGH	カメラの周囲の明るさ（照度）が約 5 lx 以下で白黒映像に切り替えます。
	LOW	カメラの周囲の明るさ（照度）が約 1 lx 以下で白黒映像に切り替えます。
⑧	[切替時間] 初期設定：30 秒	カラー映像と白黒映像を切り替えるまでの時間を以下から選択します。 10 秒/30 秒/1 分/5 分

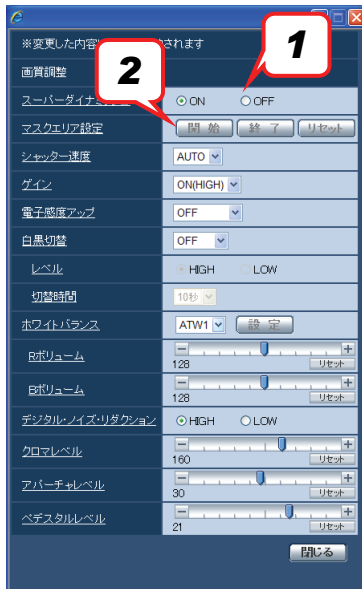
項番	項目	内容
⑨	[ホワイトバランス] 初期設定：ATW1	<p>ホワイトバランスの調節方法を選択します。 R ボリューム（赤色の調節）または B ボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> 被写体の大部分が濃い色 光源が、抜けるような青空および夕暮れ時の太陽 被写体を照らす照度が暗い 「AWC」を選択した場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。ホワイトバランスの調整が終了するまで約 7 秒間かかります。 <p>.....</p>
	ATW1	自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。 動作範囲は約 2 700 K~6 000 K です。
	ATW2	ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。 動作範囲は約 2 000 K~6 000 K です。
	AWC	自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。 動作範囲は約 2 000 K~10 000 K です。
⑩	[R ボリューム]	<p>画像の赤色を調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。</p>
⑪	[B ボリューム]	<p>画像の青色を調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。</p>
⑫	[デジタル・ノイズ・リダクション] 初期設定：HIGH	ノイズリダクション効果のレベルを設定します。低照度で自動的にノイズを低減します。
	HIGH	効果は大きくなりますが、残像が多くなります。
	LOW	効果は小さくなりますが、残像が少なくなります。
⑬	[クロマレベル]	<p>画像の色の濃さを調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。</p>
⑭	[アパーチャレベル]	<p>アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。 カーソルを+の方向に動かすとシャープな画像になり、-の方向に動かすとソフトな画像になります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。</p>

項番	項目	内容
⑮	[ペDESTALレBEL]	画像の黒レベルを調節します。 カーソルを+の方向に動かすと明るくなり、-の方向に動かすと暗くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
⑯	[閉じる] ボタン	画質調整画面を閉じます。

マスクエリアを設定する

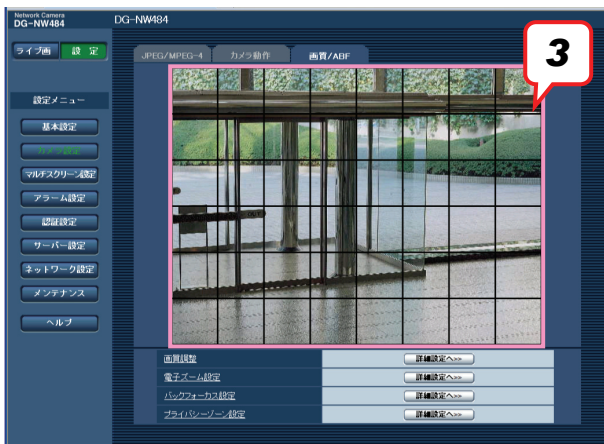
画像の明るい部分にマスクをかけて逆光を補正します。

●画質調整画面

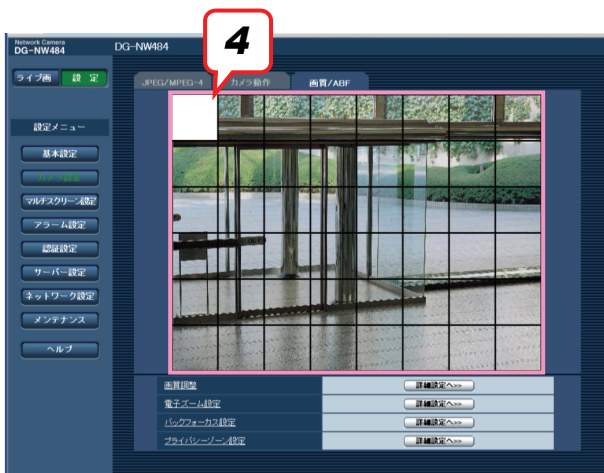


1 [スーパーダイナミックⅢ] を「ON」に設定している場合は、「OFF」に設定します。
(→21 ページ)

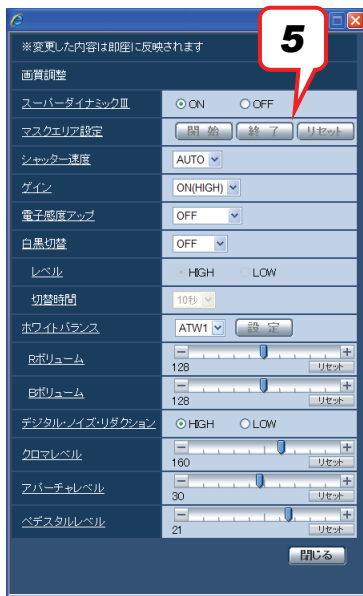
2 [マスクエリア設定] の [開始] ボタンをクリックします。



3 [画質/ABF] タブの画像上に 6×8 の枠を表示します。



4 マスクをかける枠をクリックします。
クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。
マスクを解除するときは、マスクエリアに設定した枠を再度クリックしてください。



- 5** マスクエリアを設定したら、[終了] ボタンをクリックします。
[画質/ABF] タブの画像上から枠が消えます。

メモ

- 設定したマスクエリアを解除する場合は、[リセット] ボタンをクリックします。
 - マスクエリア設定は、電子ズームを設定する前に、実施してください。
-

電子ズームを設定する（電子ズーム設定画面）

〔画質/ABF〕タブで、〔電子ズーム設定〕の〔詳細設定へ≫〕ボタンをクリックします。（→20ページ）
ここでは、電子ズームを設定します。



項番	項目	内容
①	[ズーム]	1～3倍の範囲で電子ズームを設定します。
	[+] ボタン	電子ズームの倍率を最大3倍まで上げます。 コントロールパッドをクリックすると、カメラ画角を上下左右に制御できます。
	[-] ボタン	電子ズームの倍率を1倍まで下げます。
	[リセット] ボタン	設定した電子ズームの倍率を1倍に戻します。
②	コントロールパッド	[+] ボタンでズーム倍率を上げた場合に、カメラ画角を上下左右に変更します。
③	[閉じる] ボタン	電子ズーム設定画面を閉じます。

重要

- VMD エリアを設定済みの状態で、電子ズーム設定を行うと、VMD エリアの場所がずれます。
電子ズーム設定後に、VMD エリアを設定してください。

バックフォーカスを設定する（バックフォーカス設定画面）

〔画質/ABF〕タブで、「バックフォーカス設定」の〔詳細設定へ≫〕ボタンをクリックします。（→20ページ）

ここでは、バックフォーカスの設定をします。



項番	項目	内容
①	[オートバックフォーカス]	画面の中心領域の被写体に対して、自動でバックフォーカスを調整します。
	[実行] ボタン	オートバックフォーカス機能を作動します。
②	[マニュアル調整] ボタン	バックフォーカスを微調整します。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
	[近] ボタン	バックフォーカスを手前に調整します。
	[リセット] ボタン	バックフォーカス位置を初期設定に戻します。
	[遠] ボタン	バックフォーカスを奥に調整します。
③	[カラー/白黒切替連動] 初期設定：オート	バックフォーカスの設定を選択します。
	オート	カラー映像と白黒映像を切り替えるときに、自動的にバックフォーカスを調整しフォーカスずれを補正します。
	プリセット	カラー映像と白黒映像を切り替えるときに、それぞれ設定したバックフォーカスの位置にプリセット移動します。プリセット位置はカラー映像および白黒映像で、最後に設定したバックフォーカスの位置を自動的に記憶します。
	固定	自動（オートバックフォーカス）またはマニュアルでバックフォーカスを調整後、位置を固定します。
④	[レンズ温度補正] 初期設定：ON	温度変化によるピントずれを自動で補正するかどうかを設定します。通常は ON で使用してください。
	ON	ピントを自動で補正します。
	OFF	ピントを自動で補正しません。
⑤	[閉じる] ボタン	バックフォーカス設定画面を閉じます。

重要

- [カラー/白黒切替連動] または [レンズ温度補正] を操作した場合は、必ず[設定]ボタンをクリックしてください。

メモ

- 被写体によってバックフォーカスを以下のように設定してください。

こんなときは（被写体の条件）	こうしましょう（推奨する設定）	
	バックフォーカス調整	カラー／白黒切替連動
<ul style="list-style-type: none"> 標準的な被写体 	[オートバックフォーカス] を「実行」	「オート」
<ul style="list-style-type: none"> 動きが多い 照度変化が大きい 低照度 極端に明るかったり反射する 窓越し レンズが汚れやすい場所 白壁など明暗が少ない 深い奥行きを持つ ちらつきが激しい シャッターのような平行した横方向線のみ 	[オートバックフォーカス] を「実行」→ [マニュアル調整] で [近] または [遠] ボタンをクリック	「プリセット」または「固定」

プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

〔画質/ABF〕タブで、「プライバシーゾーン設定」の〔詳細設定へ≫〕ボタンをクリックします。
 (→20 ページ)

ここでは、撮影場所（画面）の中に写したくない部分がある場合は、その部分（プライバシーゾーン）だけを表示しないように設定します。プライバシーゾーンは、最大 8 か所まで設定できます。



項番	項目	内容
①	〔表示形式〕 初期設定：OFF	プライバシーゾーンの表示形式を設定します。
	塗潰し	グレーで表示します。
	モザイク	モザイクで表示します。
	OFF	表示しません。
②	〔ゾーン選択〕	プライバシーゾーンを設定します。
	ゾーン No	「ゾーン No」から設定する番号（1～8）を選択します。 ゾーン No 右側の「*」印は、すでにプライバシーゾーンを設定していることを表します。
	〔設定〕 ボタン	隠す場所にマスクを合わせるために、サイズおよび位置を設定します。
	〔削除〕 ボタン	選択したプライバシーゾーンを削除します。
	〔キャンセル〕 ボタン	プライバシーゾーンのサイズと位置が元に戻ります。
③	〔サイズ設定〕	+を押すと、縦／横にプライバシーゾーンが伸びます。-を押すと縮みます。
④	〔位置設定〕	プライバシーゾーンの位置を上下左右に移動します。
⑤	〔閉じる〕 ボタン	プライバシーゾーン設定画面を閉じます。

メモ

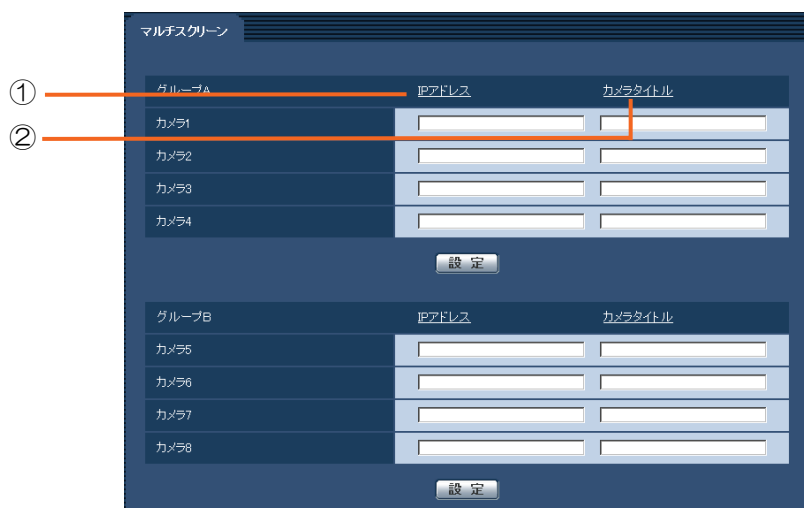
- [表示形式] の設定を「塗潰し」に設定している場合にゾーン No を選択すると、該当するゾーンが「濃いグレー」→「無」→「薄いグレー」→「無」の順で点滅表示します。同じ画像内にすでに設定済みのゾーンが存在する場合は、設定済みゾーンを「濃いグレー」→「薄いグレー」の順で表示します。
- [表示形式] の設定を「モザイク」に設定している場合にゾーン No を選択すると、該当するゾーンをモザイクで表示します。同じ画像内にすでに設定済みのゾーンが存在する場合は、設定済みゾーンを「濃いグレー」で表示します。

マルチスクリーンの設定

マルチスクリーン設定ページでは、マルチスクリーンに表示するカメラを設定します。

メモ

- マルチスクリーンで表示可能なカメラ
 - DG-NW484
 - RP (DG) -NP244 シリーズ
 - WV-NW474S
- DG-NS202
- DG-NF282 シリーズ
- RP (DG) -NP1000 シリーズ
- WV-NS320



項番	項目	内容
①	[IP アドレス]	<p>マルチスクリーンで表示するカメラの IP アドレスまたはホスト名を入力します。4 台を 1 グループとして、最大 8 台まで入力できます。</p> <p>表示するカメラの HTTP ポート番号の設定を変更している場合は、「IP アドレス:ポート番号」を入力してください。</p> <p>入力例：192.168.0.10:8080</p> <p>入力可能文字数：1～128 文字</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示する PC の DNS を設定する必要があります。(→49 ページ) <p>.....</p>
②	[カメラタイトル]	<p>カメラの名称を入力します。入力した名称をマルチスクリーン画面に表示します。</p> <p>入力可能文字数：0～20 文字</p>

アラームの設定

アラーム設定ページでは、アラーム検出、アラーム画像、VMD を検出するエリアの設定およびアラーム通知を設定します。

アラーム設定ページは、[アラーム] タブ、[VMD エリア] タブ、[通知] タブで構成されています。

アラーム検出に関する設定をする [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。

ここでは、アラーム検出に関する設定をします。



■アラーム設定

(1/2)

項番	項目	内容
①	[端子アラーム] 初期設定：OFF	端子アラームの入力を受け付けるかどうかを設定します。
	ON	端子アラーム入力を受け付けます。
	OFF	端子アラーム入力を受け付けません。
②	[VMD アラーム] 初期設定：OFF	モーションディテクターのアラーム動作を行うかどうかを設定します。 VMD エリアの設定方法については、37 ページを参照してください。
	重要 <ul style="list-style-type: none"> ON に設定したとき、MPEG-4 画像、および JPEG (QVGA) 画像の画像更新速度が、最大 15fps になります。 	
	ON	VMD アラーム動作を行います。
	OFF	VMD アラーム動作を行いません。

■アラーム設定

(2/2)

項番	項目	内容
③	[シーン変更アラーム] 初期設定：OFF	シーン変更アラームの感度レベルを選択します。 シーン変更アラームは、カメラが布またはふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを大きく変えられたりして被写体が変わったことを検出する機能です。 メモ [シーン変更アラーム] で検出できない場合 <ul style="list-style-type: none"> • 画面の一部しか覆い隠されていない • 覆いが透けている • カメラの向きを変える前と後の被写体が似ている 以下のような場合は、[シーン変更アラーム] で誤検出する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 照明の ON/OFF など明るさの変化が大きい • 人通りの多い場所、または交通量の多い道路など
	ON (高)	高感度のシーン変更アラーム動作を行います。
	ON (中)	中感度のシーン変更アラーム動作を行います。
	ON (低)	低感度のシーン変更アラーム動作を行います。
	OFF	シーン変更アラーム動作を行いません。
④	[コマンドアラーム] 初期設定：OFF	コマンドアラームからの入力を受け付けるかどうかを設定します。コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。
	ON	コマンドアラーム入力を受け付けます。
	OFF	コマンドアラーム入力を受け付けません。
⑤	[受信ポート番号] 初期設定：8181	コマンドアラームを受信するポート番号を入力します。 設定可能範囲：1~65535

アラーム画像を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。

ここでは、FTP サーバーへ送信するアラーム画像を設定します。アラーム画像を FTP サーバーへ送信するには、FTP サーバーの設定が必要です。(→47 ページ)



項番	項目	内容
①	[FTP 設定へ]	クリックするとサーバー設定ページの [FTP] タブを表示します。 (→47 ページ)
②	[アラーム画像送信] 初期設定：OFF	アラームを検出したときに、FTP サーバーへ画像を送信するかどうかを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 本機能を使用する場合は、基本設定ページの [SD メモリーカード] タブの [保存モード] を「アラーム発生時」には設定しないでください。(→12 ページ)
	ON	FTP サーバーへアラーム画像を送信します。
	OFF	FTP サーバーへアラーム画像を送信しません。
③	[ディレクトリー名]	送信した画像ファイルを保存する FTP サーバー上のディレクトリー名を入力します。 例えば、FTP サーバーの root ディレクトリー下の ALARM ディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。 入力可能文字数：0～256 文字
④	[ファイル名]	FTP サーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。 ファイル名は、「入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号」の形式になります。 入力可能文字数：1～32 文字
⑤	[ポストアラーム]	アラーム画像の更新速度、送信する画像の枚数を選択します。
	画像更新速度 初期設定：1 fps	アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。 0.1fps/0.2fps/0.33fps/0.5fps/1fps
	画像枚数 初期設定：100 枚	送信する画像の枚数を以下から選択します。 1 枚～9 枚/10 枚/20 枚/30 枚/50 枚/100 枚/200 枚/ 300 枚/500 枚/1 000 枚/2 000 枚/3 000 枚/5 000 枚
	録画時間	設定した [画像更新速度] と [画像枚数] で保存するときの所要時間の目安を表示します。
⑥	[解像度] 初期設定：VGA	アラーム画像の解像度を「QVGA/VGA」から選択します。 FTP サーバーへ送信する画像およびアラーム通知メールに添付する画像の解像度を設定します。

出力端子／白黒切替端子を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。

ここでは、出力端子をアラーム出力端子として使用するか、白黒切替端子として使用するかを設定します。



■出力端子／白黒切替端子設定

項番	項目	内容
①	[出力端子／白黒切替端子設定] 初期設定：出力端子	出力端子をアラーム出力端子として使用するか、白黒切替端子として使用するかを設定します。
	出力端子	アラーム出力端子として使用します。アラーム出力端子として使用する場合は、以下の [アラーム出力端子]、[アラーム出力]、[アラーム出力時間] の各項目を設定します。
	白黒切替端子設定	白黒切替端子として使用します。
②	[アラーム出力端子] 初期設定：ラッチ	アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を設定します。
	ラッチ	アラームを検出したときに、ライブ画ページの [アラーム発生通知] ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が [アラーム出力] で設定した状態になります。
	パルス	アラームを検出したときに、[アラーム出力時間] で設定した秒数間、アラーム出力時の端子が [アラーム出力] で設定した状態になります。
③	[アラーム出力] 初期設定：CLOSE	アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態を設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 「OPEN」に設定し、本機の電源を入れた場合は、約 20 秒間アラームを出力します。
	OPEN	アラーム出力時の端子を OPEN 状態にします (通常は CLOSE)。
	CLOSE	アラーム出力時の端子を CLOSE 状態にします (通常は OPEN)。
④	[アラーム出力時間] 初期設定：1 秒	[アラーム出力端子] で「パルス」を選択した場合は、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を入力します。 設定可能範囲：1～120 秒

AUX 名称を変更する [AUX 名称]

アラーム設定ページの [VMD エリア] タブをクリックします。
ここでは、ライブ画ページの [AUX] の名称を変更します。



項番	項目	内容
①	[AUX (10 文字まで)] 初期設定：AUX	ライブ画ページの [AUX] の名称を入力します。(10 文字まで)
②	[OPEN (5 文字まで)] 初期設定：OPEN	ライブ画ページの [AUX] ボタンの「OPEN」の名称を入力します。(5 文字まで)
③	[CLOSE (5 文字まで)] 初期設定：CLOSE	ライブ画ページの [AUX] ボタンの「CLOSE」の名称を入力します。(5 文字まで)

メモ

- iモード端末では、変更した名称は反映されません。

VMD を設定する [VMD エリア]

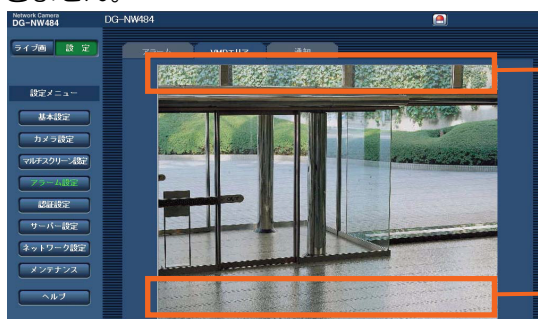
アラーム設定ページの [VMD エリア] タブをクリックします。
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出するときのエリアを設定します。
エリアは、枠色ごとに 4 ヶ所設定します。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラームが発生します。



項番	項目	内容
①	[全領域] ボタン	日時を表示する部分を除いて全領域を VMD エリアに設定します。
②	[エリア]	枠色ごとに VMD エリアを 4 ヶ所設定します。 1 (白) / 2 (青) / 3 (緑) / 4 (赤)
	状態	枠色ごとにモーションディテクター機能を「有効/無効」に設定します。
	[削除] ボタン	決定した VMD エリアを削除します。
③	[検出感度] 初期設定：中	エリア内の変化を検出するときの感度を「高/中/低」から選択します。

メモ

- 「日時&画面内文字表示位置」(9 ページ) のうち日時を表示するエリアは、VMD エリアには設定できません。



「日時&画面内文字表示位置」のうち日時が表示するエリア

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用として [アラーム発生通知] ボタンを表示します。[アラーム発生通知] ボタンを表示する場合は、[アラーム] タブの [VMD アラーム] を「ON」に設定してください。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けたとき、およびコマンドアラームを受け付けたときは、[アラーム発生通知] ボタンを表示します。
- 基本設定ページの [基本] タブで [状態通知間隔] を「リアルタイム」に設定 (9 ページ) した場合でも、ご利用のネットワーク環境によっては、通知が遅れることがあります。

重要

- 電子ズームの設定が必要な場合は、電子ズーム設定後に VMD エリアを設定してください。

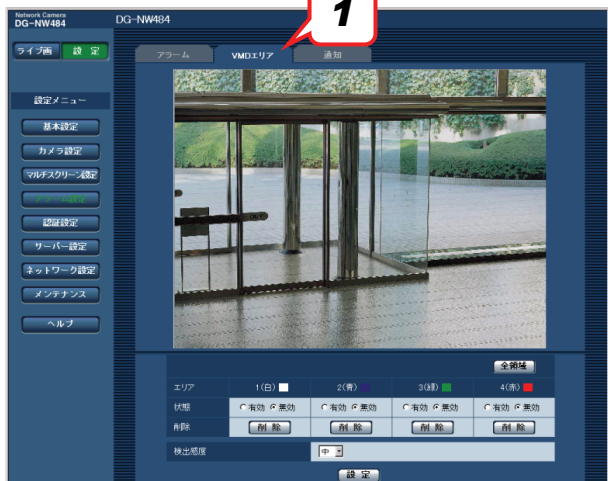
VMD エリアを4ヶ所設定する

枠色ごとにVMDエリアを4ヶ所設定します。

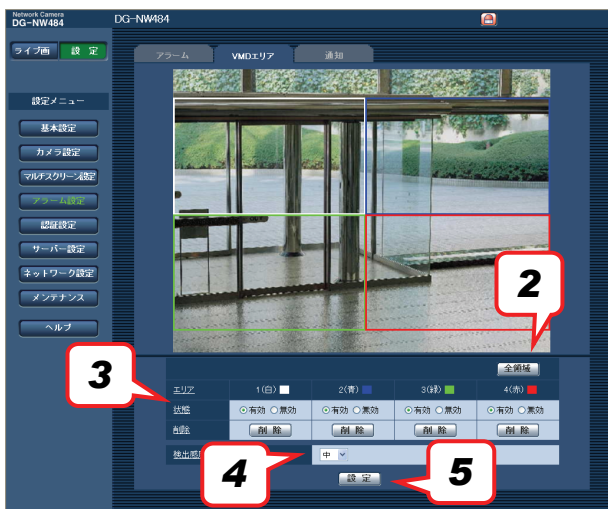
重要

- 設定画面で設定を変更している間は、VMDアラームを検出しないことがあります。

●アラーム設定ページ



- 1 アラーム設定ページで [VMD エリア] タブをクリックします。



- 2 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。[全領域] ボタンをクリックすると、エリアが全領域になり、「1 (白)」に設定されます。
- 3 VMD エリアに設定する枠色の [状態] を [有効] に変更します。
- 4 [検出感度] を「高/中/低」から選択します。動きの検出感度はすべてのエリアで共通です。
- 5 [設定] ボタンをクリックします。設定内容が本機に反映されます。



- 6 VMD エリアを無効にする場合は、該当するエリアの [状態] を [無効] に変更し、[設定] ボタンをクリックします。無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

メール通知を設定する [通知]

アラーム設定ページの [通知] タブをクリックします。

ここでは、アラーム検出および自己診断したときのメール通知の方法を設定します。メール通知を行うには、メールサーバーを設定する必要があります。(→46 ページ)



■メール通知設定

(1/2)

項番	項目	内容
①	[メール設定へ]	クリックすると、サーバー設定ページの [メール] タブを表示します。(→46 ページ)
②	[メール通知] 初期設定：OFF	アラーム検出および自己診断したときにメール通知をするかどうかを設定します。
	ON	メール通知します。
	OFF	メール通知しません。
③	[画像添付] 初期設定：OFF	アラーム検出によるメール通知時に、画像を添付するかどうかを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> • [アラーム] タブの [解像度] (35 ページ) で設定した解像度の画像を添付して通知します。
	ON	メールに画像を添付します。
	OFF	メールに画像を添付しません。

■メール通知先設定

(2/2)

項番	項目	内容
④	[メール通知先 1~4]	通知先のメールアドレスを設定します。通知先は 4 件まで設定できます。
	アラーム	「アラーム」欄にチェックを入れると、アラームを検出したときにメール通知します。
	診断	「診断」欄にチェックを入れると、SD メモリーカードの残容量通知/空き容量不足/認識エラーをメール通知します。
	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを入力します。 入力可能文字数：3~128文字
	[削除] ボタン	設定したメールアドレスを削除します。
⑤	[メール件名]	アラーム検出によるメール通知の件名を入力します。 入力可能文字数：0~50文字
⑥	[メール本文]	アラーム検出によるメール通知の本文を入力します。 入力可能文字数：0~200文字 メモ <ul style="list-style-type: none"> SD メモリーカードの空き容量がなくなったときは、「SD メモリーカードフル」、SD メモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SD メモリーカード認識エラー」というメール本文で送信します。

独自アラーム通知を設定する [通知]

アラーム設定ページの [通知] タブをクリックします。

ここでは、独自アラーム通知に関する設定をします。

■独自アラーム通知設定

(1/2)

項番	項目	内容
①	[独自アラーム通知] 初期設定：OFF	アラーム検出時の通知、およびSDメモリーカードに関する情報の通知をするかどうかを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先 1」から順に通知します（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。
	ON	独自アラーム通知をします。
	OFF	独自アラーム通知をしません。
②	[通知先ポート番号] 初期設定：1818	独自アラーム通知先の受信ポート番号を入力します。 入力可能範囲：1～65535
③	[リトライ回数] 初期設定：2回	独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を選択します。 選択可能範囲：1～30回

■独自アラーム通知先設定

(2/2)

項番	項目	内容
④	[独自アラーム通知先 1～8]	独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。通知先は8件まで設定できます。 重要 <ul style="list-style-type: none"> 通知先が正しく設定していることを確認してください。通知先が存在しないと、独自アラーム通知が遅延することがあります。 通知先はホスト名で設定できません。必ずIPアドレスで指定してください。
	アラーム	「アラーム」欄にチェックを入れると、アラーム発生時に設定した通知先に通知します。
	診断	「診断」欄にチェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知／空き容量不足／認識エラーを設定した通知先に通知します。
	通知先 IP アドレス	通知先のIPアドレスを入力します。
	[削除] ボタン	設定した通知先を削除します。

認証設定

認証設定ページでは、PC および i モード端末から本機にアクセスできるユーザーまたは PC (IP アドレス) を制限する認証を設定します。

認証設定ページは、[ユーザー認証] タブと [ホスト認証] タブで構成されています。

ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]

認証設定ページの [ユーザー認証] タブをクリックします。

ここでは、PC および i モード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限するユーザー認証を設定します。最大 16 ユーザーまで登録できます。

メモ

- 同じ IP アドレスの PC から 30 秒間に 8 回以上、ユーザー認証に失敗 (認証エラー) した場合は、本機にアクセスできなくなります。しばらくしてからアクセスしてください。

(1/2)

項番	項目	内容
①	[ユーザー認証]	ユーザー認証をするかどうかを設定します。
	初期設定：OFF	
	ON	ユーザー認証します。
	OFF	ユーザー認証しません。
②	[ユーザー名]	ユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32 文字
③	[パスワード] /	パスワードを入力します。 入力可能文字数：4～32 文字
	[パスワード確認]	
		メモ
		<ul style="list-style-type: none">• 登録済みのユーザー名を入力し [登録] ボタンをクリックすると、ユーザー情報を上書きします。
	

項番	項目	内容
④	[アクセスレベル] 初期設定：3.ライブ画表示	アクセスレベルを設定します。
	1.管理者	すべての機能を使用できる管理者としてユーザー登録します。 管理者は各種機能設定および操作が可能です。
	2.カメラ制御	画像表示、本機の操作ができるユーザーとして登録します。
	3.ライブ画表示	画像表示ができるユーザーとして登録します。
⑤	[ユーザー確認]	[▼] をクリックすると、登録したユーザーを表示します。ユーザーの表示形式は、「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」です。
	[削除] ボタン	表示したユーザーを削除します。

ホスト認証を設定する [ホスト認証]

認証設定ページの [ホスト認証] タブをクリックします。

ここでは、本機にアクセスできる PC (IP アドレス) を制限するホスト認証を設定します。



項番	項目	内容
①	[ホスト認証] 初期設定：OFF	ホスト認証をするかどうかを設定します。 重要 <ul style="list-style-type: none"> ホスト認証を設定する前に、アクセスを許可する PC の IP アドレスとアクセスレベルを登録してください。IP アドレスを登録する前に [ホスト認証] を「ON」に設定すると、本機へアクセスできなくなります。
	ON	ホスト認証します。
	OFF	ホスト認証しません。

項番	項目	内容
②	[IP アドレス]	<p>本機へのアクセスを許可する IP アドレスを入力します。 ホスト名での指定はできません。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレス/サブネットのマスク長を入力すると、サブネットごとにアクセスできる PC を制限できます。 例えば「192.168.0.1/24」と入力し、[アクセスレベル]で[2.カメラ制御]を選択した場合は、192.168.0.0.~192.168.0.255のPCが[2.カメラ制御]のアクセスレベルで本機にアクセスできます。 登録済みの IP アドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ホスト情報を上書きします。 <p>.....</p>
③	[アクセスレベル] 初期設定：3.ライブ画表示	<p>アクセスレベルを設定します。 アクセスレベルについては、44 ページを参照してください。</p>
	1.管理者	すべての機能を使用できる PC として IP アドレスを登録します。
	2.カメラ制御	画像表示、本機の操作ができる PC として IP アドレスを登録します。
	3.ライブ画表示	画像表示ができる PC として IP アドレスを登録します。
④	[ホスト確認]	<p>[▼] をクリックすると、登録している IP アドレスを表示します。 IP アドレスの表示形式は、「登録した IP アドレス [アクセスレベル]」です。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ホスト確認」の [▼] をクリックすると、登録している IP アドレスを表示します。 ホストは、「登録した IP アドレス [アクセスレベル]」の形式で表示します。右側の [削除] ボタンをクリックすると、表示した IP アドレスを削除します。 <p>.....</p>
	[削除] ボタン	表示している IP アドレスを削除します。

サーバーの設定

サーバー設定ページでは、メールサーバー、FTPサーバーを設定します。
サーバー設定ページは、[メール] タブと [FTP] タブで構成されています。

メールサーバーを設定する [メール]

サーバー設定ページの [メール] タブをクリックします。
ここでは、アラームメールを送信するメールサーバーを設定します。



(1/2)

項番	項目	内容
①	[SMTP サーバーアドレス]	電子メールを送信する SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブで DNS を設定する必要があります。(→49 ページ) 入力可能文字数：1～128 文字
②	[POP サーバーアドレス]	[認証方法] で「POP before SMTP」を選択した場合は、POP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブで DNS を設定する必要があります。(→49 ページ) 入力可能文字数：1～128 文字
③	[認証方法] 初期設定：なし	電子メールを送信するときの認証方法を設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	なし	認証しません。
	POP before SMTP	電子メールを送信する前に、メールを受信する POP 認証します。
	SMTP	SMTP 認証します。
④	[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32 文字
⑤	[パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32 文字

項番	項目	内容
⑥	[送信者メールアドレス]	送信元のメールアドレスを入力します。 入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。 入力可能文字数：3～128 文字

FTP サーバーを設定する [FTP]

サーバー設定ページの [FTP] タブをクリックします。
ここでは、画像を送信するFTPサーバーを設定します。

項番	項目	内容				
①	[FTP サーバーアドレス]	画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。FTPサーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの[ネットワーク]タブでDNSを設定する必要があります。(→49ページ) 入力可能文字数：1～128 文字				
②	[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32 文字				
③	[パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32 文字				
④	[コントロールポート番号] 初期設定：21	FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。 入力可能範囲：1～65535				
⑤	[モード] 初期設定：パッシブモード	画像を送信するときのFTPの通信モードを設定します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 通常はパッシブモードを設定してください。パッシブモードで接続できない場合に、アクティブモードを設定してください。 <table border="1"> <tr> <td>パッシブモード</td> <td>FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。</td> </tr> <tr> <td>アクティブモード</td> <td>FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。</td> </tr> </table>	パッシブモード	FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。	アクティブモード	FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。
パッシブモード	FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。					
アクティブモード	FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。					

ネットワークの設定

ネットワーク設定ページでは、本機のネットワーク機能、DDNS（Dynamic DNS）機能を設定します。ネットワーク設定ページは、[ネットワーク] タブ、[DDNS] タブ、[SNMP] タブ、[FTP 定期] タブで構成されています。

ネットワークを設定する [ネットワーク]

ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブをクリックします。

本機のネットワークを設定するには、以下の情報をネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTP ポート番号
- DNS 用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNS を使用する場合）

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) tab in a web interface. It contains several configuration sections:

- ネットワーク設定** (Network Settings):
 - ① DHCP: Radio buttons for ON and OFF. OFF is selected.
 - ② IPアドレス: Four input fields with values 192, 168, 0, 10.
 - ③ サブネットマスク: Four input fields with values 255, 255, 255, 0.
 - ④ デフォルトゲートウェイ: Four input fields with values 192, 168, 0, 1.
 - ⑤ HTTPポート番号: Input field with value 80 and a range (1-65535).
 - ⑥ DNS: Radio buttons for AUTO and MANUAL. MANUAL is selected.
 - ⑦ プライマリーサーバーアドレス: Four input fields with values 0, 0, 0, 0.
 - ⑧ セカンダリーサーバーアドレス: Four input fields with values 0, 0, 0, 0.
 - ⑧ 通信速度: A dropdown menu with 'AUTO' selected.
- カメラへのFTPアクセス** (FTP Access to Camera): Radio buttons for 許可 (Allow) and 禁止 (Prohibit). 禁止 is selected.
- 配信量制御(ビットレート)** (Bitrate Control): A dropdown menu with '制限なし' (No Limit) selected.

Each section has a '設定' (Settings) button below it.

(1/3)

項番	項目	内容
①	[DHCP]	DHCP 機能を使用するかどうかを設定します。
	初期設定：OFF	DHCP 機能を使用しない PC と他のネットワークカメラが同じ IP アドレスにならないように、DHCP サーバーを設定してください。
	ON	DHCP 機能を使用します。
	OFF	DHCP 機能を使用しません。

項番	項目	内容
②	[IP アドレス] 初期設定：192.168.0.10	DHCP 機能を使用しない場合は、本機の IP アドレスを入力します。PC および他のネットワークカメラに設定した IP アドレスと重複しないように入力してください。
③	[サブネットマスク] 初期設定：255.255.255.0	DHCP 機能を使用しない場合は、本機のサブネットマスクを入力します。
④	[デフォルトゲートウェイ] 初期設定：192.168.0.1	DHCP 機能を使用しない場合は、本機のデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
⑤	[HTTP ポート番号] 初期設定：80	HTTP ポート番号を個別に入力します。 入力可能範囲：1～65535 メモ <ul style="list-style-type: none"> HTTP ポート番号は本機で使用する 20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10669、10670 以外のポート番号を使用してください。
⑥	[DNS] 初期設定：MANUAL	DNS サーバーのアドレスを自動で取得するか、または手動で入力するかを設定します。
	AUTO	DHCP 機能を使用する場合は、自動的に DNS サーバーアドレスを取得します。
	MANUAL	DHCP 機能を使用しない場合は、DNS サーバーのアドレスを入力します。[プライマリーサーバーアドレス] および [セカンダリーサーバーアドレス] を入力する必要があります。(DHCP 機能を使用する場合も入力できます。)
⑦	[プライマリーサーバーアドレス] [セカンダリーサーバーアドレス]	[DNS] を「MANUAL」で設定した場合は、DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
⑧	[通信速度] 初期設定：AUTO	通信速度を選択します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 通常は、初期設定の「AUTO」を選択することをお勧めします。
	AUTO	通信速度を自動設定します。
	100M-FULL	通信速度を 100 Mbps 全二重に設定します。
	100M-HALF	通信速度を 100 Mbps 半二重に設定します。
	10M-FULL	通信速度を 10 Mbps 全二重に設定します。
	10M-HALF	通信速度を 10 Mbps 半二重に設定します。
⑨	[カメラへの FTP アクセス] 初期設定：禁止	FTP クライアントからカメラへの FTP アクセスを許可するかどうかを設定します。
	許可	FTP クライアントからカメラへの FTP アクセスを許可します。
	禁止	FTP クライアントからカメラへの FTP アクセスを禁止します。

項番	項目	内容
⑩	[配信量制御(ビットレート)] 初期設定：制限なし	データの配信量を以下から選択します。 制限なし/64 kbps/128 kbps/256 kbps/512 kbps/ 1024 kbps/2048 kbps/4096 kbps/ メモ

- JPEG 画像でライブ画像配信とFTP 定期送信とを同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 配信量を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショット機能が動作しない場合があります。その場合は、JPEG 設定の「解像度」を QVGA に設定するかまたは、「画質」を低く設定してください。

メモ

- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP 機能を使用している場合でも、IP アドレス、およびデフォルトゲートウェイのアドレスに、以下のアドレスを設定しないでください。
 - 0.***
 - ***.0
 - 255.***
 - ***.255
 - 127.0.0.1
 - クラス D アドレス
(224.0.0.0 ~239.255.255.255)
 - クラス E アドレス
(240.0.0.0 ~255.255.255.255)

DDNS を設定する [DDNS]

ネットワーク設定ページの [DDNS] タブをクリックします。

ここでは、DDNS 機能を設定します。

グローバル IP アドレスを DHCP で取得し、本機にインターネット経由してアクセスするには、DDNS 機能を設定する必要があります。

DDNS 機能を設定すると、「DDNS サーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセスします。

DDNS のサービスを受けるためには、専用のサーバーに登録してください。専用サーバーへの登録方法については、ソフトウェア付属の Readme を参照してください。



項番	項目	内容
①	[DDNS] 初期設定：OFF	DDNS 機能を使用するかどうかを設定します。
	ON	DDNS 機能を使用します。
	OFF	DDNS 機能を使用しません。
②	[ホスト名]	使用するホスト名を入力します。 入力可能文字数：1～64 文字
③	[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32 文字
④	[パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32 文字
⑤	[アクセス間隔] 初期設定：1 時間	DDNS サーバーに対して IP アドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。 1 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 6 時間 / 24 時間

SNMP を設定する [SNMP]

ネットワーク設定ページの [SNMP] タブをクリックします。

ここでは、SNMP 機能を設定します。SNMP マネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。

SNMP 機能を使用するには、設定する内容をネットワーク管理者に確認してください。

The screenshot shows the SNMP configuration interface. It features four input fields, each with a circled number and a label: ① コミュニティ名, ② 機器名, ③ 機器の物理的位置, and ④ 連絡先. A '設定' button is located at the bottom center of the form area.

項番	項目	内容
①	[コミュニティ名]	監視の対象となるコミュニティ名を入力します。 入力可能文字数：0～32 文字 重要 <ul style="list-style-type: none">コミュニティ名が空欄の場合は、SNMP 機能を使用できません。SNMP 機能を使用するには、必ずコミュニティ名を入力してください。
②	[機器名]	SNMP 機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。 入力可能文字数：0～32 文字
③	[機器の物理的位置]	本機を設置した場所を入力します。 入力可能文字数：0～32 文字
④	[連絡先]	管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。 入力可能文字数：0～255 文字

FTP 定期送信を設定する [FTP 定期]

ネットワーク設定ページの [FTP 定期] タブをクリックします。

ここでは、FTP サーバーへ画像を定期送信するための設定をします。FTP 定期送信するには、FTP サーバーを設定する必要があります。(→47 ページ)

定期送信スケジュールの設定については、55 ページを参照してください。

重要

- ご利用のネットワーク環境によっては、設定した間隔で送信できないことがあります。
- 基本設定ページの [SD メモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合は、「保存モード」を「FTP 定期送信エラー時」に設定してください。(→12 ページ)
- FTP 定期送信とアラーム画像送信を同時に設定すると、アラーム画像送信を優先します。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP 定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

メモ

- 基本設定ページの [SD メモリーカード] タブで「保存モード」を「FTP 定期送信エラー時」に設定すると、FTP 定期送信に失敗したときに SD メモリーカードへ画像を自動保存します。(→12 ページ)



■FTP 定期送信設定

(1/2)

項番	項目	内容
①	[FTP 設定へ]	クリックするとサーバー設定ページの [FTP] タブを表示します。 (→47 ページ)
②	[定期送信設定] 初期設定：OFF	画像を FTP サーバーへ定期送信するかどうかを設定します。 「ON」に設定した場合は、FTP サーバーを設定してください。 (→47 ページ)
	ON	画像を FTP サーバーへ定期送信します。
	OFF	画像を FTP サーバーへ定期送信しません。

項番	項目	内容
③	[ディレクトリー名]	送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。 例えば、FTP サーバーの root ディレクトリー下の img ディレクトリーを指定するには、「/img」と入力します。 入力可能文字数：1～256 文字
④	[ファイル名]	送信するファイル名を入力し、FTP サーバーに保存するファイル名の形式を設定します。 入力可能文字数：1～32 文字
	ファイル名+日時	ファイル名の形式を「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00.jpg」とします。
	ファイル名を固定	入力したファイル名をそのまま使用します。送信したファイルは、常に同じ名称のファイルとして上書き保存します。
⑤	[送信間隔] 初期設定：1 秒	送信間隔を以下から選択します。 1 秒～6 秒／10 秒／15 秒／20 秒／30 秒／1 分～6 分／10 分／15 分／20 分／30 分／1 時間／1.5 時間／2 時間／3 時間／4 時間／6 時間／12 時間／24 時間
⑥	[解像度] 初期設定：VGA	アラーム画像の解像度を「QVGA/VGA」から選択します。

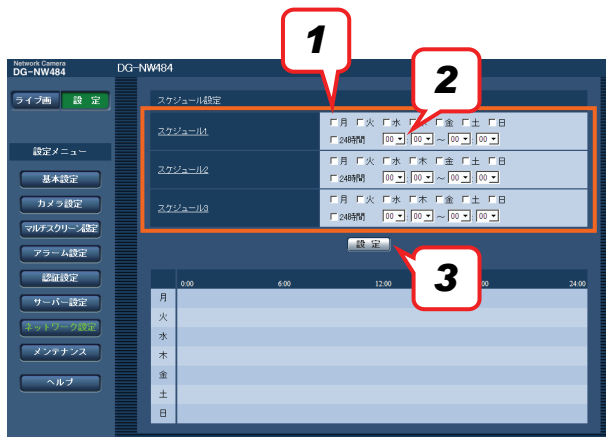
FTP 定期送信スケジュールを設定する [FTP 定期]

ネットワーク設定ページの [FTP 定期] タブをクリックします。

ここでは、FTP サーバーへ画像を定期送信するスケジュールを設定します。

定期送信の設定については、53 ページを参照してください。

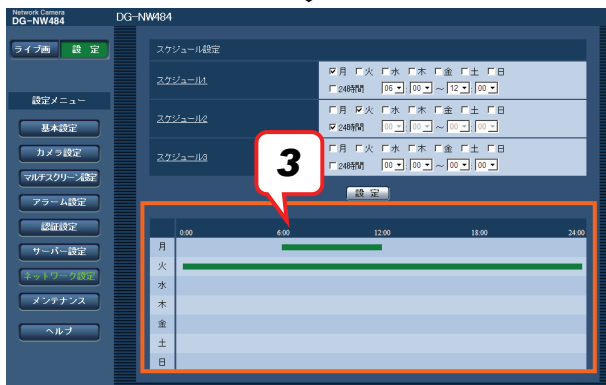
■スケジュールの設定方法



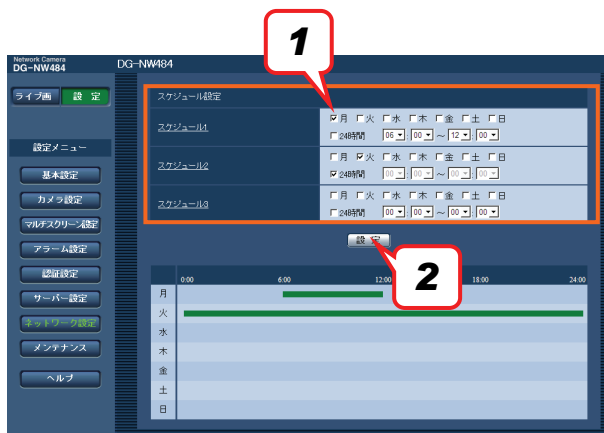
1 「スケジュール設定」で、スケジュールを適用する曜日にチェックマークを入れます。

2 時間を指定するには、[▼] をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しない場合は、「24 時間」にチェックマークを入れます。

3 設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。
画面下に設定した内容でグラフ表示します。

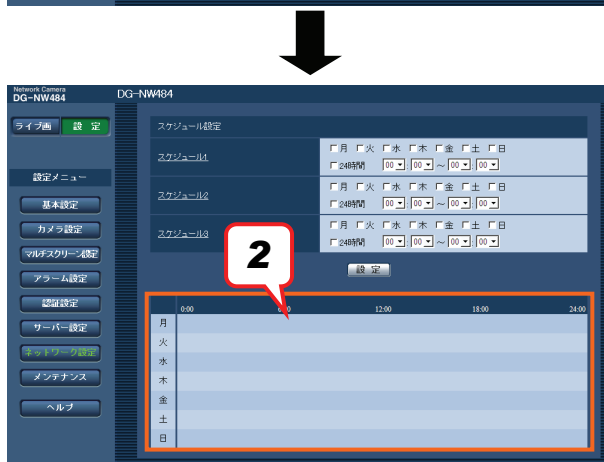


■スケジュールの削除方法



1 スケジュールを削除する曜日のチェックマークをはずします。

2 設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。
画面下に設定した内容を表示します。



メンテナンス

メンテナンスページでは、システムログの確認、ソフトウェアのバージョンアップ、設定の初期化、および本機を再起動します。

メンテナンスページは、[システムログ] タブ、[バージョンアップ] タブ、[初期化] タブで構成されています。

システムログを確認する [システムログ]

メンテナンスページの [システムログ] タブをクリックします。

システムログは 100 件ずつ表示し、保存するシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから順に上書きします。



項番	項目	内容
①	[<<前の 100 件] ボタン	表示しているシステムログ一覧の前の 100 件を表示します。
②	[次の 100 件>>] ボタン	表示しているシステムログ一覧の次の 100 件を表示します。
③	[No]	システムログの通し番号を表示します。
④	[発生日時]	ログの発生日時を表示します。 メモ <ul style="list-style-type: none">• [時刻表示形式] (8 ページ) を「OFF」に設定している場合は、ログの発生日時を 24 時間形式で表示します。
⑤	[エラー内容]	システムログの内容を一覧表示します。 各システムログの内容については、63 ページを参照してください。

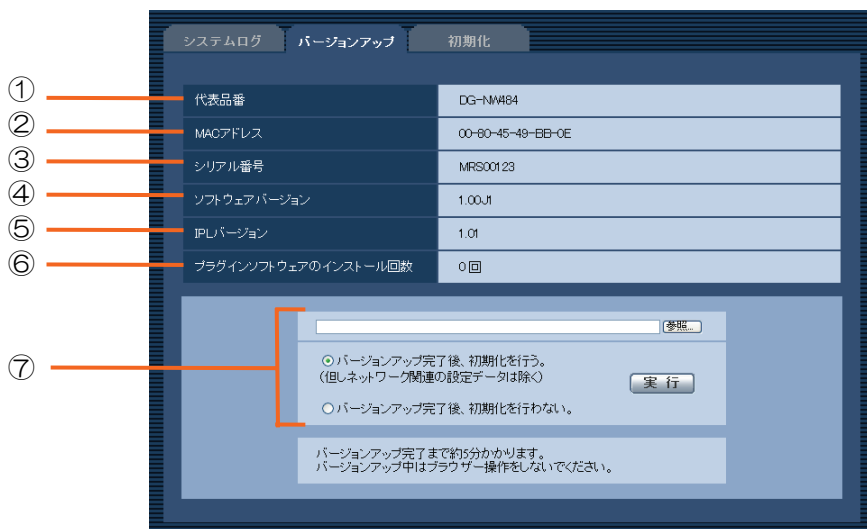
- メモ**
- 基本設定ページの [SD メモリーカード] タブで「SD メモリーカードの使用」を「使用する」に設定した場合は、SD メモリーカード内に最大 4 000 件のシステムログを保存します。
 - 「SD メモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大 100 件までシステムログを保存します。
 - SD メモリーカードを使用した場合は、カメラの電源を切ってもログを保存します。SD メモリーカードを使用しない場合は、カメラの電源を切るとログを消去します。
-

ソフトウェアをバージョンアップする [バージョンアップ]

メンテナンスページの [バージョンアップ] タブをクリックします。

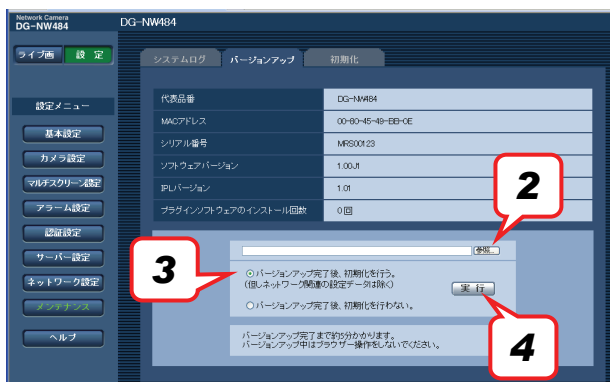
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアをバージョンアップします。

バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



項番	項目	内容
①	[代表品番]	本機の代表品番を表示します。
②	[MAC アドレス]	本機の MAC アドレスを表示します。
③	[シリアル番号]	本機のシリアル番号を表示します。
④	[ソフトウェアバージョン]	ソフトウェアのバージョンを表示します。
⑤	[IPL バージョン]	IPL (起動プログラム) のバージョンを表示します。
⑥	[プラグインソフトウェアのインストール回数]	プラグインソフトウェアのインストール回数を表示します。
⑦	[ファイル名]	バージョンアップするファイル名を入力します。[参照] ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログでファイルを選択します。
	[バージョンアップ完了後、初期化を行なう]	バージョンアップ完了後、初期化する場合に、チェックを入れます。
	[バージョンアップ完了後、初期化を行わない]	バージョンアップ完了後、初期化しない場合に、チェックを入れます。
	[実行] ボタン	バージョンアップを実行します。

■ソフトウェアのバージョンアップ方法



- 1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアを PC のハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーは、半角英数字で指定してください。

- 2 [参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。
- 3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップが完了したらデータを初期化するかどうかを選択します。

メモ

- 初期化するかどうかは、ソフトウェア付属の Readme を参照してください。

- 4 [実行] ボタンをクリックします。
バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面を表示します。バージョンアップ完了後にデータを初期化しない場合は、確認画面を表示しません。バージョンアップが完了したら、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

重要

- バージョンアップする場合は、本機と同じサブネット内にある PC を使用してください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認ください。
- バージョンアップに使用するソフトウェアは、当社指定の img ファイルを使用してください。
- バージョンアップに使用するソフトウェアは、必ず「nw484_xxxxx.img」というファイル名で保存してください。
※「xxxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、ウェブブラウザ画面で操作しないでください。
- 以下の設定データは「バージョンアップ完了後、初期化を行う」を選択した場合でも初期化しません。
DHCP の ON/OFF、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTP ポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PC ごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を初期化・再起動する [初期化]

メンテナンスページの [初期化] タブをクリックします。

ここでは、本機の設定データ、HTML の初期化、および本機を再起動します。



項番	項目	内容
①	[設定データ初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化しません。
②	[HTML 初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、HTML ファイルを初期設定に戻します。
③	[設定データ/HTML 初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容と HTML ファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化しません。
④	[カメラの再起動]	[実行] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

メモ

- 初期化、または再起動したあとに、操作を開始するまでには約 2 分間お待ちください。

ネットワークセキュリティ

本機に装備しているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能を用意しています。

①ユーザー認証／ホスト認証アクセスの制限（認証設定ページ）

ユーザー認証／ホスト認証の設定を「ON」に設定すると、本機にアクセスするユーザーおよびPCを制限します。（→43 ページ）

②HTTP ポートの変更によるアクセスの制限（ネットワーク設定ページ）

HTTP のポート番号を変更することで、不正アクセスを防止します。（→49 ページ）

メモ

- 同じ IP アドレスの PC から 30 秒間に 8 回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にアクセスできなくなります。しばらくしてからアクセスしてください。
-

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTP サーバー情報、DDNS サーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセスを制限するなどの対策を実施してください。

ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面を参照してください。

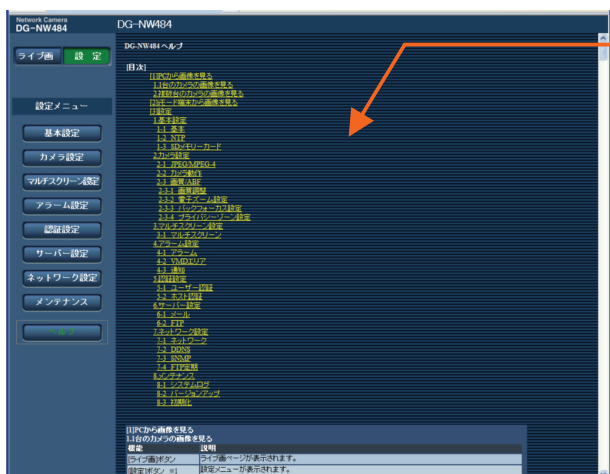
ヘルプ画面を表示する

●設定画面



- 1 [設定] ボタンをクリックします。
設定画面を表示します。
- 2 [ヘルプ] ボタンをクリックします。
ヘルプ画面を表示します。

●ヘルプ画面



知りたい項目をクリックすると、該当する操作の説明を表示します。

システムログ表示について

SMTP に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3 サーバーエラー	認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3 サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">サーバーの IP アドレスが間違っている可能性があります。サーバーの IP アドレスの設定を再確認してください。POP3 サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTP サーバーエラー	SMTP 認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNS から Mail サーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">DNS サーバーの設定が間違っている可能性があります。DNS 設定を再確認してください。DNS サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTP サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">SMTP サーバーの IP アドレスが間違っている可能性があります。SMTP サーバーの IP アドレスの設定を再確認してください。SMTP サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

システムログ表示について (つづき)

FTP に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTP サーバーエラー	DNS から FTP サーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">FTP サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。FTP サーバーの IP アドレスが間違っている可能性があります。FTP サーバーの IP アドレスの設定を再確認してください。
	FTP サーバー見つからず	
接続エラー	転送エラー	<ul style="list-style-type: none">FTP サーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP サーバーの設定を再確認してください。各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP サーバーの設定を再確認してください。
	Passive モードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	FTP 機能で問題が発生しています。FTP サーバーの設定を再確認してください。

DDNS に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細	
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none">DDNS サーバーの設定が間違っている可能性があります。DDNS 設定を再確認してください。DDNS サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	
	ユーザー名パスワードエラー		ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS サーバーの設定を再確認してください。
	IP アドレスアップデートエラー		DDNS サーバーで IP アドレスアップデートエラーが起きました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	DDNS 機能で問題が発生しています。DDNS サーバーの設定を再確認してください。	

NTP に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none">• NTP サーバーの IP アドレスが間違っている可能性があります。NTP サーバーの IP アドレスの設定を再確認してください。• NTP サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none">• DNS サーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS サーバーの設定を再確認してください。• DNS サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
NTP による時刻同期成功	時刻自動補正しました	時刻修正が成功しました。

故障かな!?

修理を依頼する前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らない場合、およびこの表以外の症状の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

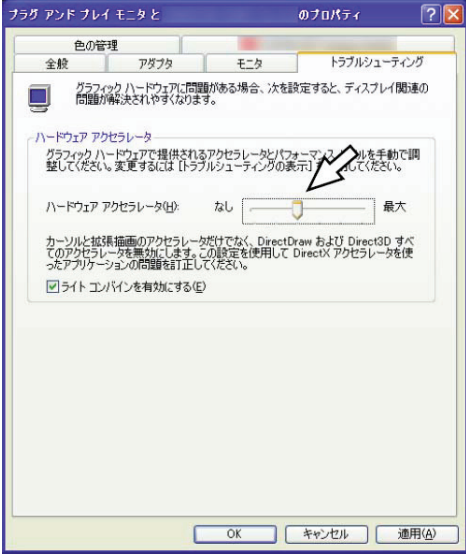
症状	原因・対策	参照ページ
ブラウザーからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 後面のネットワーク端子にカテゴリ-5 のケーブルは接続していますか？ 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ● リンク LED は点灯していますか？ 点灯していない場合は、LAN に正常接続していないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に有効な IP アドレスを設定していますか？ 	49
	<ul style="list-style-type: none"> ● 間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windows のコマンドプロンプトで >ping 「本機に設定した IP アドレス」 を入力し、NW484S から Reply が応答されると、本機は正常に動作しています。 Reply が応答されない場合は、次のいずれかの操作を試してください。 ・本機を再起動し、20 分以内に IP 簡単設定ソフトを使用して、IP アドレスを変更する。 ・カメラ本体の初期化ボタンを押しながら本機を再起動して本機の初期化をし、IP アドレスを「192.168.0.10」に戻す。初期化が完了したら、本機にアクセスして IP アドレスを再設定する（本機の設定データをすべて初期化します）。 	基本編

(次ページへ続く)

症状	原因・対策	参照ページ
ブラウザーからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> 設定した IP アドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ 〔同一サブネット内に本機と PC を接続している場合〕本機と PC の IP アドレスは共通のサブネットに設定していますか。 ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定にしていますか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 本機と PC が異なるサブネットに接続されている場合は、本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていないか確認してください。 	—
SDメモリーカードの画像取得ができない	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源は入っていますか？ AC/DC 電源または PoE 電源を正しく接続しているか確認してください。 	基本編
SDメモリーカードの画像取得ができない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定ページの「カメラへの FTP アクセス」を「許可」に設定していますか？ 「カメラへの FTP アクセス」を「許可」に設定してください。 	49
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。 	基本編
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> DirectX®のバージョンは 9.0c 以上ですか？ 以下の手順で DirectX®のバージョンを確認してください。 (1) PC のスタートメニューから [ファイルを指定して実行] を選択する。 (2) 「dxdiag」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。 バージョンが 9.0c よりも低い場合は、Microsoft 社のホームページから最新の DirectX®を入手してください。 	—

症状	原因・対策	参照ページ
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのドーム部にごみ、ほこりなどが付着していませんか？ カメラのドーム部にごみ、ほこりなどが付着していないか確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのドーム部が汚れていませんか？ カメラのドーム部の汚れを落としてください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスを正しく調節していますか？ 本機使用中にフォーカスがずれた場合は、バックフォーカス設定（ABF）でフォーカスを調整してください。 	28
画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のウェブブラウザの種類、バージョンによっては、画像が更新されなかったり、カメラ制御などの操作に不具合が発生したりすることがあります。 Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2 日本語版のご使用をお勧めします。 Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版の場合は、Microsoft® Internet Explorer®6.0 SP1 日本語版のご使用をお勧めします。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● ご利用のネットワーク環境によっては、画像の表示が止まることがあります。 ウェブブラウザの [更新] ボタンをクリックして、画像を取得してください。 	—
カメラ画像が出ない （暗い）	<ul style="list-style-type: none"> ● 「明るさ」を暗くなるように設定していませんか？ [明るさ] ボタンの「標準」をクリックしてください。 	標準操作編
画像が白っぽい	<ul style="list-style-type: none"> ● 「明るさ」を明るくなるように設定していませんか？ [明るさ] ボタンの「標準」をクリックしてください。 	標準操作編
画像がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> ● シャッター速度を「AUTO」に設定していますか？ 「AUTO」でもちらつきが補正できない場合は、シャッター速度を「1/100」に設定してください。 	21
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スーパーダイナミックⅢ」を「ON」に設定していませんか？ 「OFF」に設定してください。 	21

症状	原因・対策	参照ページ
SDメモリーカードに画像が保存されない	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードはフォーマットしていますか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしていますか？ 「LOCK」にしている場合は、[SDメモリーカード] タブの「SDメモリーカード」に「*****KB/*****KB」と表示されます。 LOCKを解除して取り付け直してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度があります。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。 	—
ライブ画ページで [アラーム発生通知] ボタン、[AUX] ボタンがリアルタイムに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。 	基本編
	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 日本語版を使用していませんか？ Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版または Microsoft® Windows® XP HomeEdition SP2 日本語版を使用してください。 	9
全画面表示中に [ESC] キーを押してもライブ画ページに戻らない	PCのキーボードの [F5] キーを押すか、[ライブ画] ボタンをクリックしてください。	基本編
ライブ画ページの画像が表示されない		
全画面表示すると不必要なタイトルバーが表示される	Internet Explorer®「セキュリティ」設定画面（[インターネットオプション] - [セキュリティ]）にて本機の IP アドレスを「信頼済みサイト」に登録してください。	—
全画面表示をしても画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像が表示される前に [ESC] キーを押していませんか？ [Alt] + [F4] キーを押すなどして、ブラウザを一度、閉じてください。 	基本編

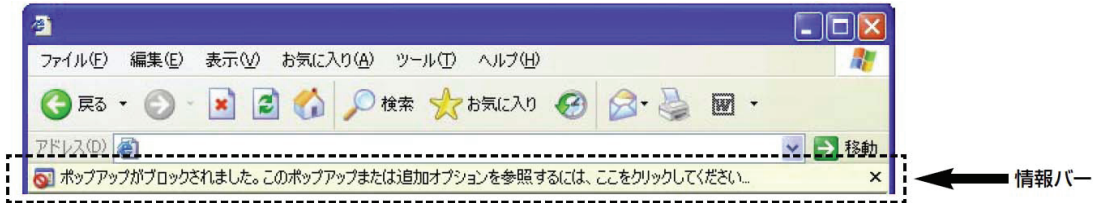
症状	原因・対策	参照ページ
<p>複数のブラウザを起動してMPEG-4画像を表示したとき、1つのブラウザに複数のカメラ画像が切り替わり表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご利用の PC のディスプレイアダプターとドライバーとの組み合わせによって、発生することがあります。本現象が発生した場合は、ディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Microsoft® Windows® XP ProfessionalSP2 日本語版を例に説明します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 (2) 画面のプロパティ画面で [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。 (3) [トラブルシューティング] タブをクリックし、「ハードウェアアクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDraw のアクセラレータを無効にしてください。 	<p>—</p>

症状	原因・対策	参照ページ
画像がうまく更新されない、表示されない	以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 (1) Internet Explorer®で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 (2) 「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンをクリックする。	—
	<ul style="list-style-type: none"> • ウィルスチェックソフトのファイアウォール機能により本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。 	—

Windows® XP Service Pack2 をインストールしてお使いになる場合

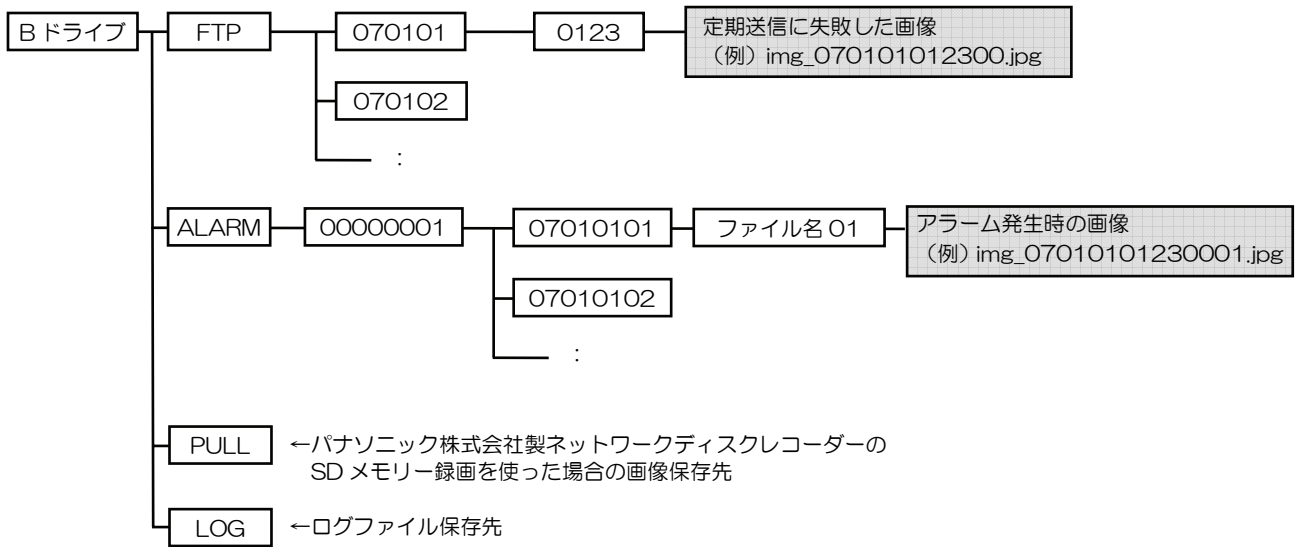
Windows® XP SP2 を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響、またはセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象および対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer®のアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症状	原因・対策	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ブラウザーによりポップアップがブロックされました。 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。 「このサイトのポップアップを許可しますか?」というメッセージが表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	<p>—</p>
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次のActiveX コントロールが必要な可能性があります。Panasonic Corporationからの'nwcv3setup.exe インストールするには、ここをクリックしてください...」</p>	<p>情報バーをクリックし、「ActiveX コントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。</p>	<p>—</p>
<p>ポップアップに不必要なステータスバーおよびスクロールバーが表示される</p>	<p>Internet Explorer®のセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] アイコンを選択します。 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。</p>	<p>—</p>

Bドライブのディレクトリー構造



用語集

<アルファベット・数字>

ActiveX (コントロール)

Microsoft 社が開発したソフトウェアの部品化技術です。インターネットおよびイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorer®に機能を追加する形で使用します。本ネットワークカメラでは、動画を表示するために使用しています。

DDNS (Dynamic DNS)

DNS サーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけを DNS サーバー間で転送できるようにした技術です。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

PC がネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS (Domain Name System)

ネットワーク環境上で使用する IP アドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PC にわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それを IP アドレスに変換して通信します。このドメイン名と IP アドレスを対応させるしくみです。

fps (Frame Per Second)

1 秒間に表示できる画像の枚数を示します。動画のなめらかさを表します。

FTP (File Transfer Protocol)

ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

IP アドレス (Internet Protocol Address)

インターネットおよびイントラネットなどの IP ネットワークに接続した PC および通信機器 1 台 1 台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

IP マスカレード (Network Address Port Translation, IP masquerade)

1 つのグローバルアドレスを複数の PC で共有する技術です。NAT と異なり TCP/UDP のポート番号まで動的に変換するため、1 つのグローバルアドレスで複数の PC から同時に接続できます。

LAN (Local Area Network)

同じ建物の中およびフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にある PC およびプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MAC アドレス(Media Access Control address)

ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータを送受信します。

JPEG (Joint Photographic Experts Group)

静止画データの圧縮方式の 1 つです。連続的に JPEG 画像を送信する動画方式は、MotionJPEG と表現する場合があります。

MPEG-4 (Moving Picture Experts Group phase 4)

動画データの圧縮方式の 1 つです。

NAT (Network Address Translation)

1 つのグローバルアドレスを複数の PC で共有する技術です。

NTP (Network Time Protocol)

ネットワークに接続した機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

PoE (Power over Ethernet)

イーサネットケーブルを利用して、データと電力を同時に供給する技術です。2003 年 6 月に「IEEE802.3af」として標準化されました。電源を取りにくい場所にもカメラなどの機器を設置できるようになります。

PoE 給電ハブ

PoE 機能を持ったスイッチングハブです。

POP(3) (Post Office Protocol Version 3)

インターネットおよびイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

QVGA

320×240 ピクセルの解像度のことです。

SD メモリーカード (Secure Digital memory card)

小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットおよびイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信したりするときに使われます。

SMTP サーバー (SMTP server)

現在もっとも普及しているメール送信プロトコルである SMTP に対応しているサーバーです。

SMTP 認証 (Simple Mail Transfer Protocol Authentication)

メール送信に使うプロトコルである SMTP にユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTP サーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードを認証します。このため、SMTP サーバーとクライアントの双方が SMTP 認証対応していなければなりません。

SNMP (Simple Network Management Protocol)

ルーターおよび PC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続した通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットおよびイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL (Uniform Resource Locator)

インターネット上にある文書および画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

VGA (Video Graphics Array)

640×480 ピクセルの解像度のことです。

VPN (Virtual Private Network)

公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術および暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

WAN (Wide Area Network)

電話回線および専用線を使って、本社一支社間など地理的に離れた地点にある PC 同士を接続し、データをやり取りすることをいいます。

<あ>

インターネット (internet)

全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパソコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

ウェブブラウザ (web browser)

Web ページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft 社の Internet Explorer® などがあります。

<か>

(デフォルト) ゲートウェイ (gateway)

組織内の LAN などのネットワークから外部のネットワークの PC へアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

グローバル (IP) アドレス (global address)

インターネットに接続した機器に 1 つ 1 つ割り振られた IP アドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自由に割り振ることができるプライベート (IP) アドレスがあります。

ケーブルモデム

インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、PC とはイーサネットを通じて接続します。

<さ>

サブネット (subnet)

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理および回線の分配を効率よくするために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

サブネットマスク (subnet mask)

サブネット内の IP アドレスのうち何ビットをネットワーク識別用のネットワークアドレスに使用するかを定義する 32 ビットの数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内の PC を識別するホストアドレスと呼ばれます。

セカンダリー (DNS) サーバー (secondary DNS server)

DNS サーバーは通常 2 系統以上用意することになっており、そのうちの副系統 (サブ) のサーバーです。主系統 (プライマリ) のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

全二重 (full duplex)

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時にできるようにした通信方式のことです。

<た>

タイムゾーン

共通で (地方) 標準時を使うある国および地域全体をタイムゾーンといいます。

<は>

半二重 (half duplex)

双方向通信で、1 つの通信回線を使用して、送信と受信を切り替えながら通信する方式のことです。

ビットレート (bit rate)

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps : bits per second) が使われます。映像データおよび音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が 1 秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

ファイアウォール (firewall)

インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの 1 つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムおよびそのようなシステムが組みこまれた PC です。

プライベート (IP) アドレス (private address)

主に組織内の LAN など、ネットワークに接続したときに割り振られた IP アドレスです。プライベート (IP) アドレスは申請をしなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート (IP) アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル (IP) アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プライマリ (DNS) サーバー (primary DNS server)

DNS サーバーは通常 2 系統以上用意することになっており、そのうちの主系統 (メイン) のサーバーです。

プラグインソフトウェア

アプリケーションソフトウェアに機能を追加するためのプログラムです。

フレームレート (frame rate)

1 秒間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

ブロードバンドルーター (broadband router)

ADSL および光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

プロキシサーバー (proxy server)

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理 (プロキシ)」として、インターネットと接続する PC およびソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可および外部ネットワークからの不正なアクセスを遮断します。

プロトコル (protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数の PC などでデータを交換する際の通信規約 (約束事) の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ポート番号 (port number)

インターネット上の通信 (TCP、UDP など) で、複数の相手と同時に接続するために、IP アドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

<ま>

マルチキャスト

ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。

<や>

ユニキャスト

ネットワーク内で、1 つの IP アドレスを指定して特定の相手にデータを送信することです。

<ら>

ルーター (router)


異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信するデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	DG-NW484S
おぼえのため 記入されると 便利です	販売店名	電話（	）	—		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号